

歯科医院用画像管理ソフトウェア
Dental Photo Scape
操作マニュアル - 応用編 -

東九州ソフトウェア開発

連絡先

ホームページ URL : <http://www.eksd.jp>
電子メールアドレス : support@mail.eksd.jp

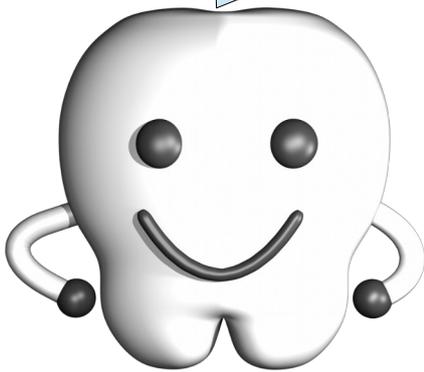
目次

はじめに	3
本書について	3
本書を読む前に	4
本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報	5
Dental Photo Scape のアンインストール	6
アンインストーラの実行	7
アンインストール	9
1. ようこそ画面	9
2. 進行中画面	10
3. 完了画面	11
画像をより簡単に配置するには	12
口腔内写真の複数枚自動配置	13
デンタルの自動分割配置	15
より詳細に画像を編集する	21
180度回転	23
任意回転	24
モノクロ化	25
階調反転	26
色相調整	27
彩度調整	28
明度調整	29
濃淡調整	30
ぼかし	31
ノイズ除去	32
鮮鋭化	33
エッジ抽出	34
トリム(切り抜き)	35
その他の機能	36
画像の削除	37
画像の追加登録	39
外部プログラムによる画像の照会や編集	40
画像の時系列での表示	42
画像への線の書き込み	44
プライバシーの保護	45
バックアップ(退避)とリカバリ(復旧)	46
バックアップ(退避)の手順	47
リカバリ(復旧)の手順	52
患者様 ID の変更方法	57
1. Dental Photo Scape の終了	58
2. 患者様 ID の更新	59
情報の保存場所のクリア	61
1. Dental Photo Scape の終了	62
2. 保存場所クリア	63
付録	65
新しいパーソナルコンピュータへの引越し(PC内保存)	65
新しいパーソナルコンピュータへの引越し(NAS上保存)	66
情報の保存場所の移動	67

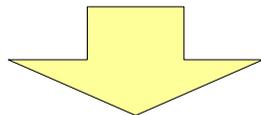
はじめに

本書について

本書は、まだ説明していないDental Photo Scapeの機能やDental Photo Scapeを安全に使用するための定期的なメンテナンスなどについて説明しています。



インストールとデータベースのセットアップ



機能設定・日々の業務（画像の登録・照会）

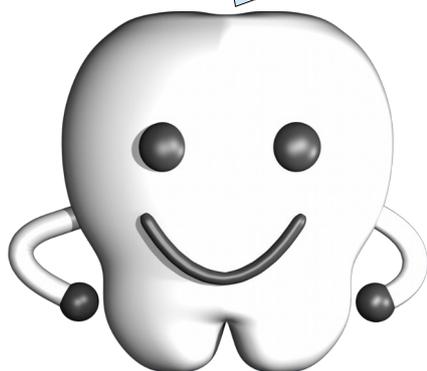
不定期の作業

本書

本書を読む前に

本書を読む前に、別冊の、

- ・ 『Dental Photo Scape 操作マニュアル - 基本編 -』
- を参照してください。



本ソフトウェア製品で使用されているソフトウェアのライセンス情報

本ソフトウェア製品は、複数のソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東九州ソフトウェア開発または第三者の著作権が存在します。

- libjpeg -

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

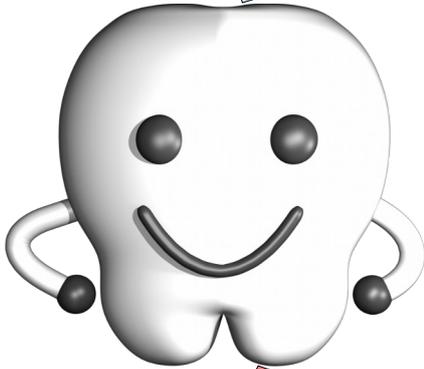
- OpenSSL -

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young. (eay@cryptsoft.com)

Dental Photo Scape のアンインストール

次の手順で Dental Photo Scape のアンインストールを行います。



Windows XP の場合は、管理者権限が割り当てられたユーザでログインしてアンインストール作業を行ってください。

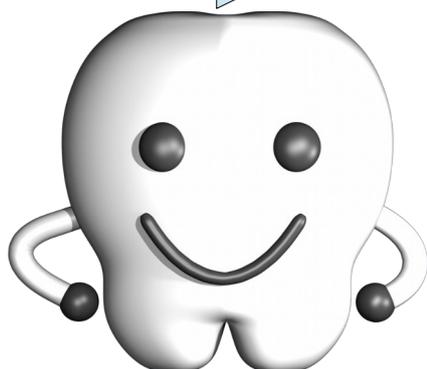
よくわからなければ、初回起動時に作成したユーザで Dental Photo Scape のアンインストールを実施してください。

アンインストールしてもデータは消去されません。そのため、特別な作業を行うことなく、新たにインストールする新バージョンに引き継ぐことができます。

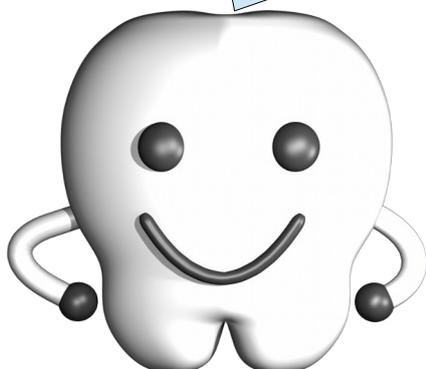
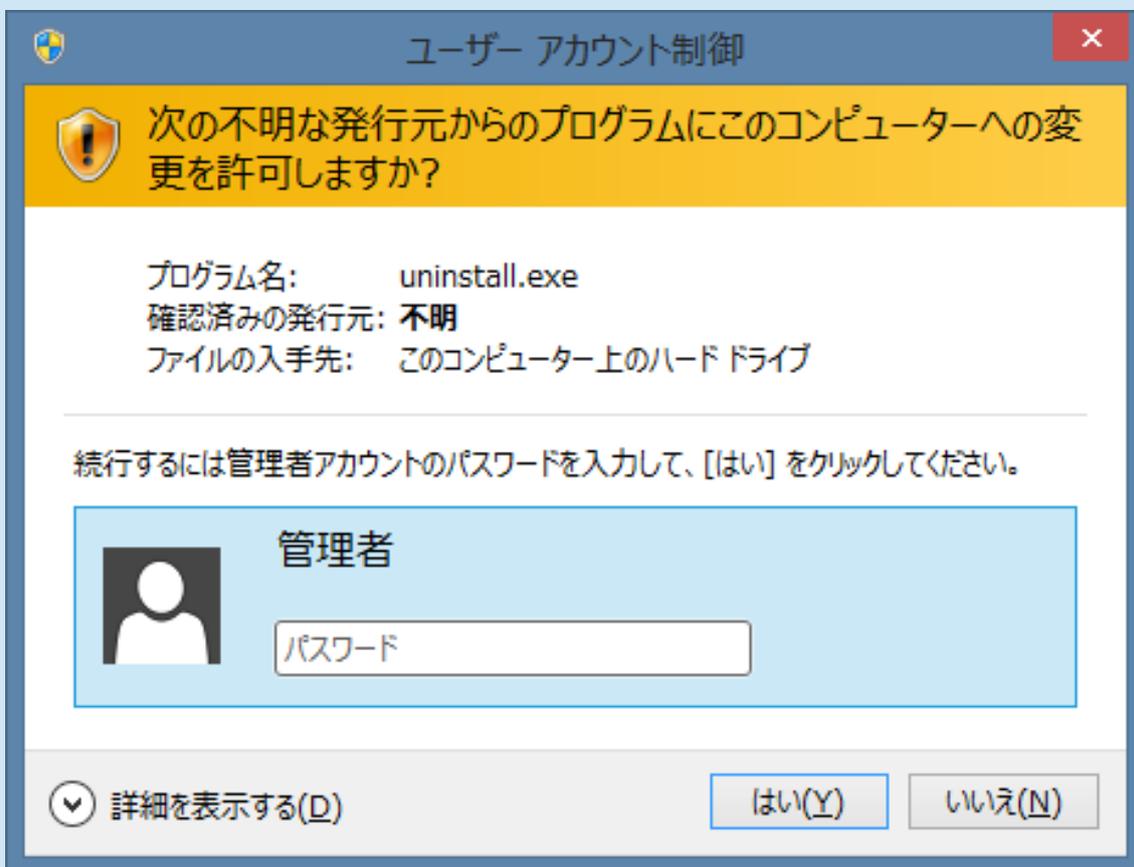
アンインストーラの実行

デスクトップに作成されている、

Dental Photo Scapeのアンインストーラ（下図参照）
をダブルクリックし、アンインストーラを起動します。



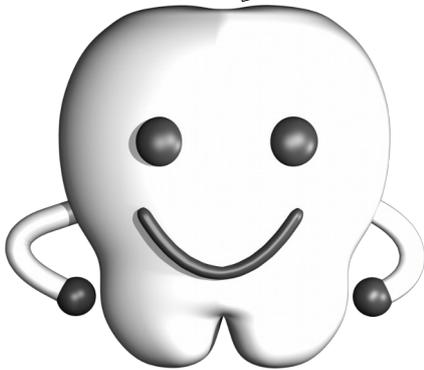
アンインストール時に『ユーザー アカウント制御』という画面（下図参照）が表示されることがあります。



その場合には、**管理者のパスワードを入力してアンインストールを継続してください。**

アンインストール

アンインストーラが起動しますので、下記の要領にて画面の操作を行って、アンインストールを行ってください。

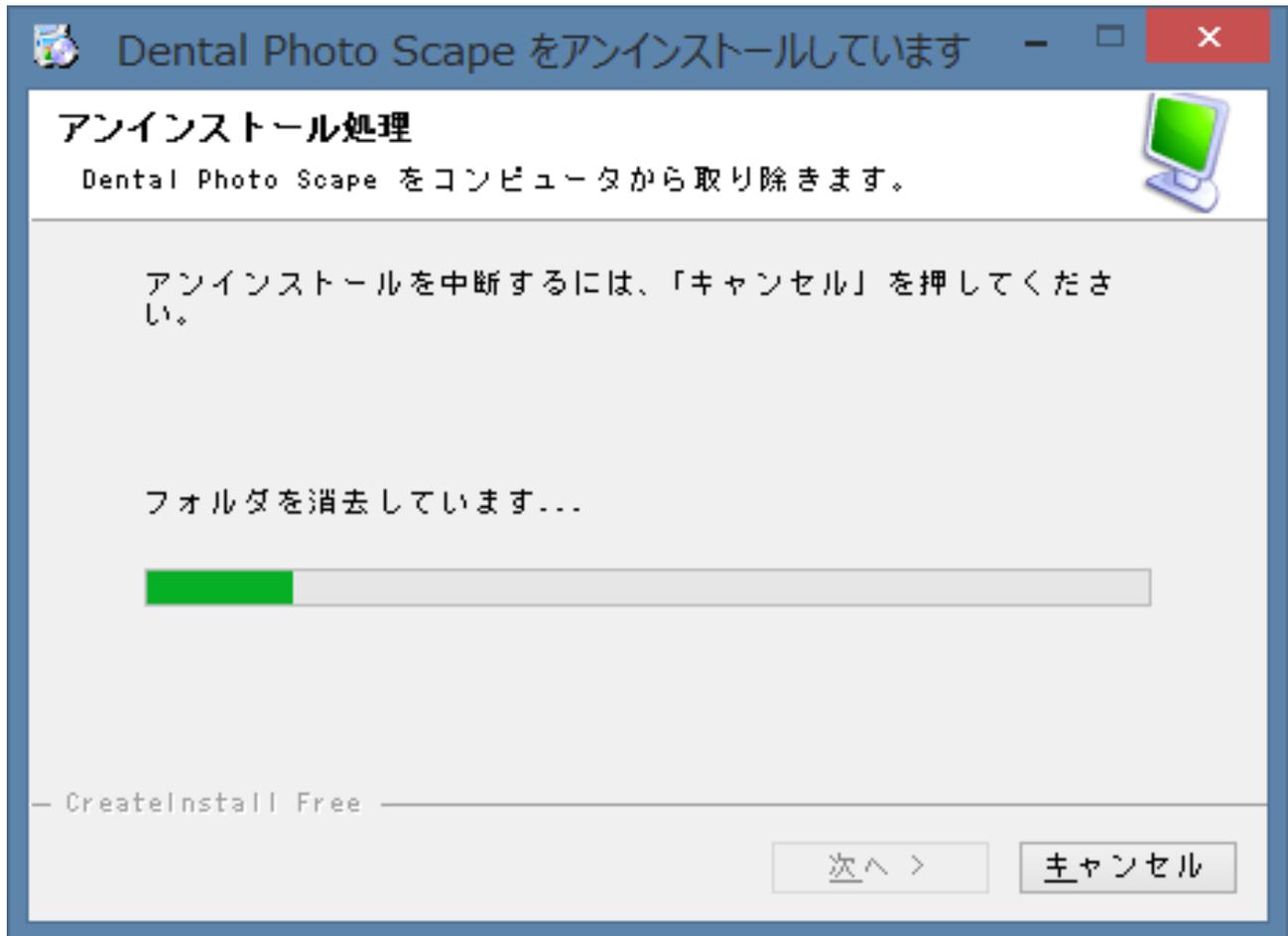


1. ようこそ画面



ようこそ画面です。アンインストールを中断する場合は[キャンセル]ボタンを、続行する場合は、[次へ >]ボタンを押して次へ進みます。

2. 進行中画面



アンインストールの進行具合が表示されます。[次へ >]ボタンが押せるようになるまでそのままお待ちください。[次へ >]ボタンが押せるようになったら、[次へ >]ボタンを押して次へ進みます。

3. 完了画面



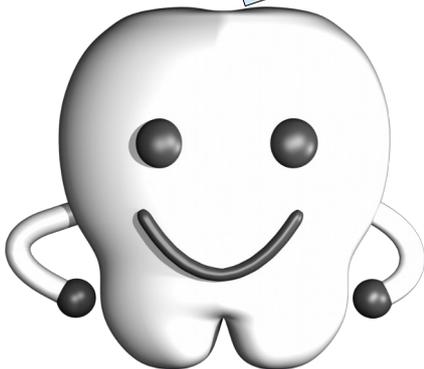
アンインストールが正常に終了したことを表しています。[完了]ボタンを押してアンインストーラを終了してください。アンインストールが正常に終了すると、デスクトップに作成されていた Dental Photo Scape を起動するためのアイコンやマニュアルを参照するためのアイコンが削除されます。

画像をより簡単に配置するには

Dental Photo Scapeでは、下図のドロップエリアに画像をドロップすることで配置を行いますが、1枚ずつドロップして配置する以外にも、複数枚まとめて配置したり、1枚の画像を分割して配置することもできます。



新規画像をここにドロップ



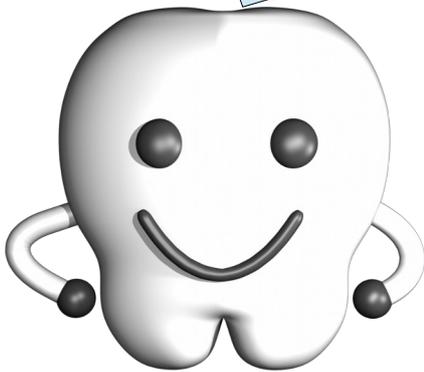
複数枚まとめての配置は口腔内写真で、1枚の画像からの自動分割配置はデンタルで使用することができます。

口腔内写真の複数枚自動配置

口腔内写真の複数枚自動配置は、あらかじめルール化しておいた順序で撮影された口腔内写真を、複数枚まとめて配置するための機能です。この機能を利用するためには、

- ・ 撮影の順序がルール化されていること
- ・ ルール化された順序通りに撮影されていること
- ・ 同じ部位の画像が1枚しかないこと
- ・ 撮影順序がDental Photo Scapeの設定画面で設定済みであること

が必要となります。

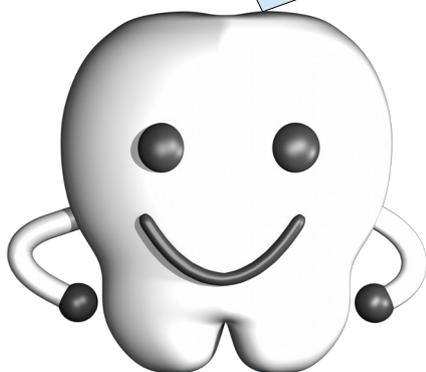


太陽光の下での撮影とは異なり、診療室での撮影は手ぶれしやすいため同じ部位を複数枚撮影する場合などあると思います。

その場合には、Dental Photo Scapeに取り込む前に各部位について1枚を残し、他の画像は削除しておいてください。

では、複数枚をまとめて配置します。手順は通常の配置と同じく、登録パネルに切り替えて、ドロップエリアに画像をドロップして行ないます。ただし、**選択する画像は1枚ではなく、5枚または9枚または12枚を選択した状態でドロップします。**

別ウィンドウで実行しているWindows付属のエクスプローラで画像を選択する際に、キーボードのCtrlを押しながらマウスの左ボタンで画像をクリックすることで画像を追加選択することができます。



5枚または9枚または12枚の画像を選択したら通常通りの手順でドロップします。

Dental Photo Scapeは、設定画面で指定されている撮影順序に従って画像を自動的に配置します。

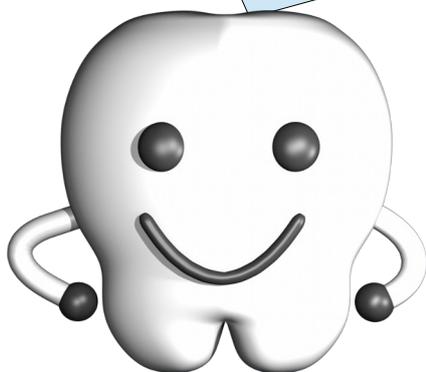
■ 口腔内写真撮影順序						
5枚法	* 右側側面	2				
	* 上顎咬合面	1				
	* 正面	3	* 左側側面	4		
	* 下顎咬合面	5				
9枚法	* 右側口蓋側面	1	* 前歯部口蓋側面	2	* 左側口蓋側面	3
	* 右側側面	4	* 前歯部正面	5	* 左側側面	6
	* 右側舌側面	7	* 前歯部舌側面	8	* 左側舌側面	9

設定画面で上図のように設定されている場合は、5枚同時ドロップであれば、上顎咬合面、右側側面、正面、左側側面、下顎咬合面の順に配置されます。同様に9枚同時ドロップであれば、左側口蓋側面、前歯部口蓋側面、...〈省略〉... 前歯部舌側面、左側舌側面という順序で配置されます。

デンタルの自動分割配置

デンタルの自動分割配置は、スキャナで取り込まれて1枚の画像になっている10枚または14枚のデンタルを分割する機能です。この機能を利用するためには、

- ・デンタルの枚数は10枚または14枚であることが必要となります。



なお、分割位置はマウスで自由に移動させることができ、次回以降のために分割位置を保存することもできます。

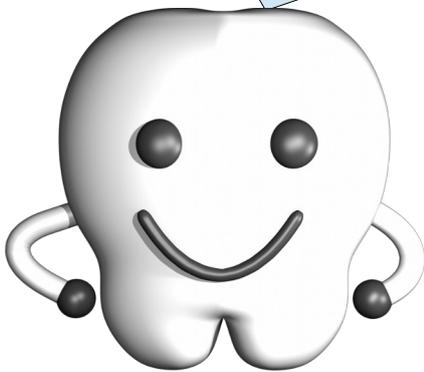
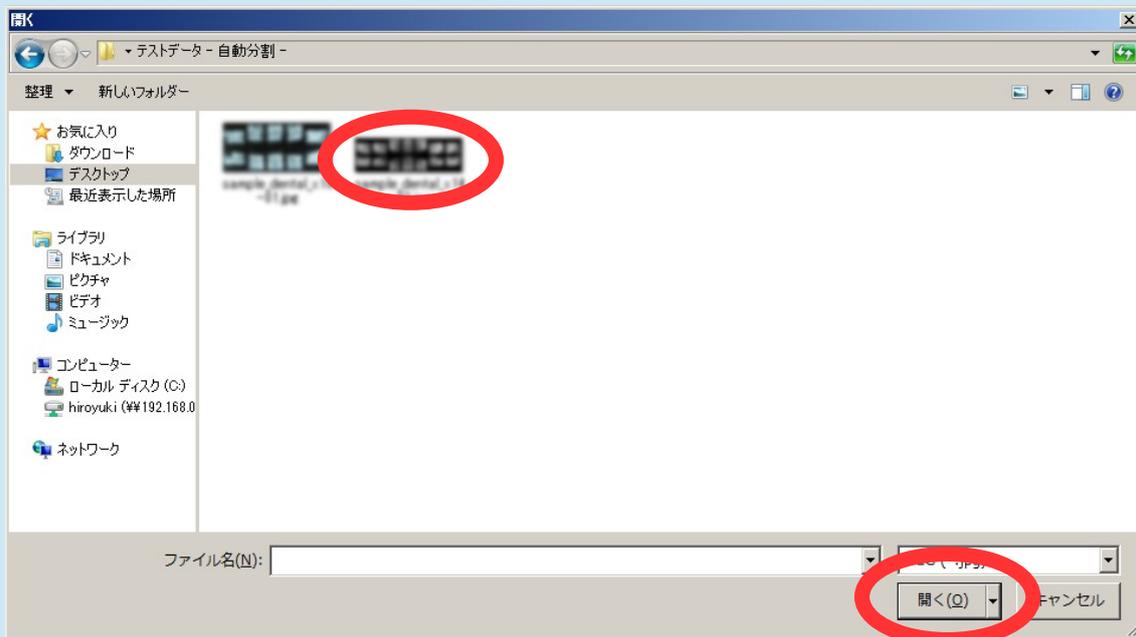
同じスキャナ機器 + フィルムホルダの利用が前提ですが、保存することで、次回から分割位置の調整が簡単になります。

まずは、スキャナで1枚の画像として取り込んだ10枚または14枚のデンタル画像を準備します。

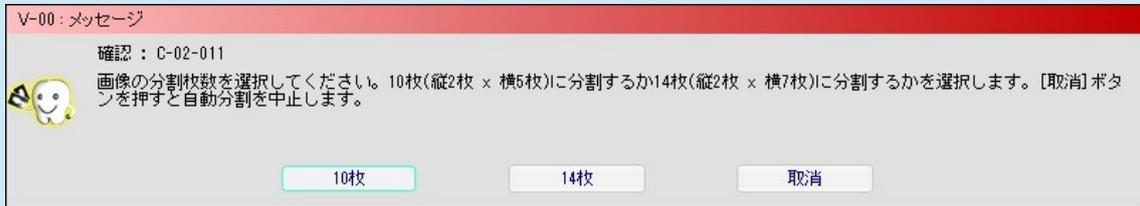
次に、登録パネルに切り替え、デンタルタブでデンタルレイアウトに切り替えます。続けて、パネルの右上にある「デンタル自動分割読込」ボタンを押します。



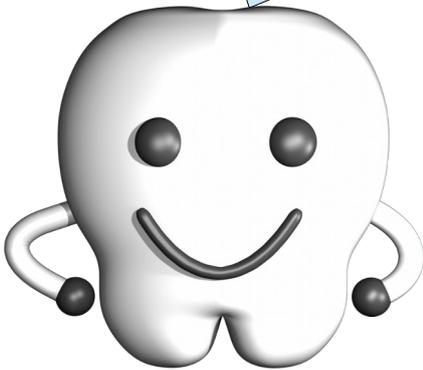
Windows の『開く』ダイアログが表示されます。スキャナで取り込んだデンタル画像を選択し、[開く (O)] ボタンを押します。



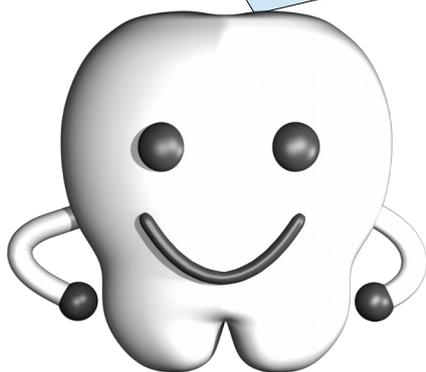
下図のメッセージ（画像の分割枚数を選択してください。10枚...<省略>... を中止します。）が表示されます。



[10枚] ボタンか [14枚] ボタンを押すと処理を続行します。[取消] ボタンを押すと自動分割配置を中止します。



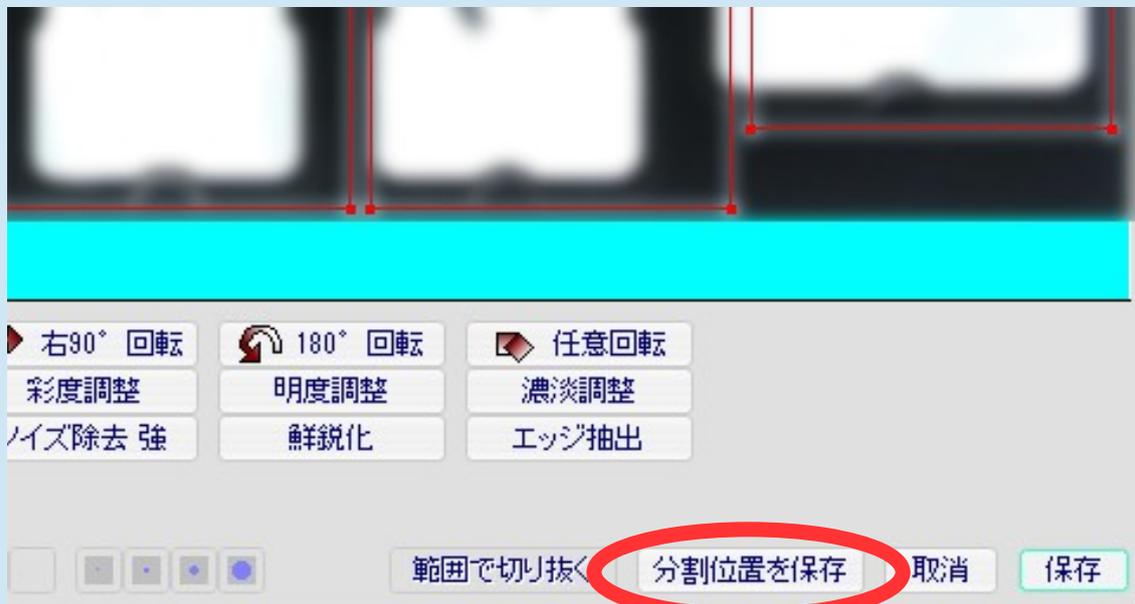
続いて、画像編集画面が開きます。この画面で、分割位置を調整します。



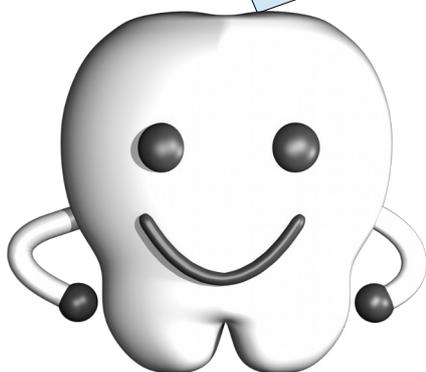
10個、または14個の赤枠が表示されます。この赤枠が、それぞれの部位に切り抜く範囲を表しています。

初めて自動分割配置の機能を利用する場合には、お使いの機材（スキャナ + フィルムホルダ）に最適な位置にはなっていないので、マウスを使ってそれぞれの赤枠を移動してください。各枠の四隅にあるノブをマウスの左ボタンでドラッグして移動させます。

赤枠が画像を囲むように移動したら、次に分割位置を保存しましょう。



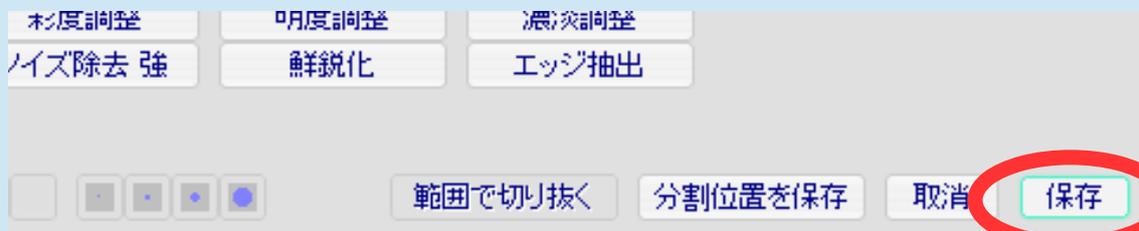
画面下部にある [分割位置を保存] ボタンを押します。



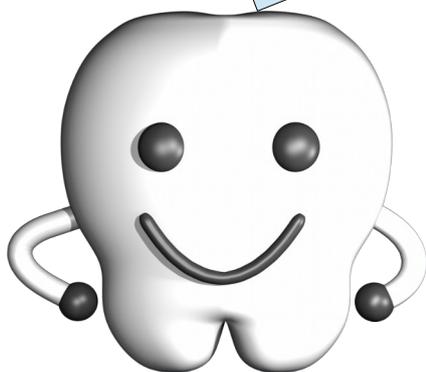
これで分割位置が保存されました。次回以降は、保存した分割位置が復元されます。

なお、10枚と14枚で個別に分割位置が保存されます。それぞれ、初回の分割で分割位置を保存しておきましょう。

では、分割位置で10枚または14枚に分割し、さらに画像を配置させます。



画面下部にある「保存」ボタンを押します。



下図のように、デンタルが赤枠で切り抜かれて自動的に配置されます。



より詳細に画像を編集する

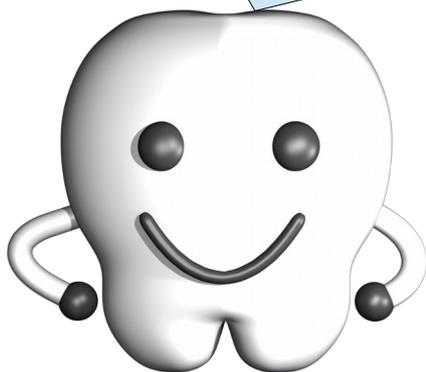
画像の登録時に画面の下部にある各種ボタンを押すことで、水平反転、垂直反転、90度単位での回転を行えることは『Dental Photo Scape 操作マニュアル - 基本編 -』で説明しました。



右端にある[編集]ボタンを押すことで、より細かな編集を行うことができます。

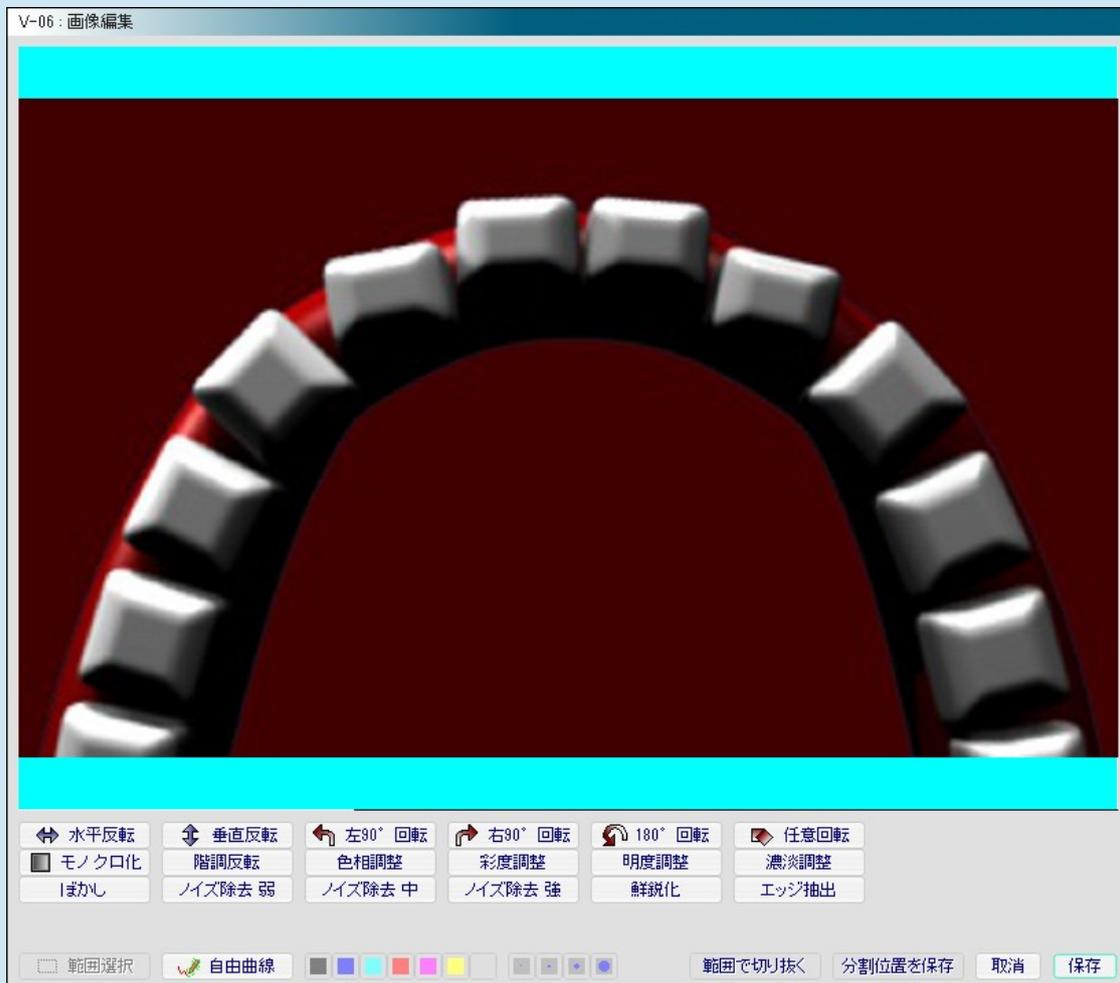


なお、照会パネルにも[編集]ボタンがあり、登録後の画像を編集することができます。

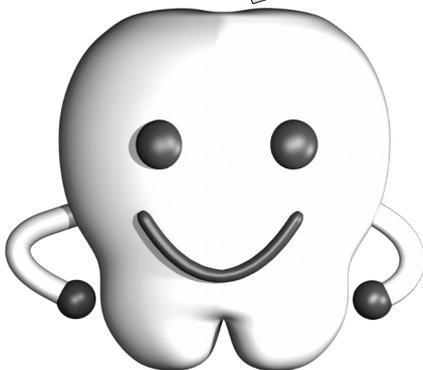


ここでは、[編集]ボタンを使って、より詳細に画像を編集する手順を説明します。

[編集] ボタンを押すと、画像編集画面が新たに開きます。



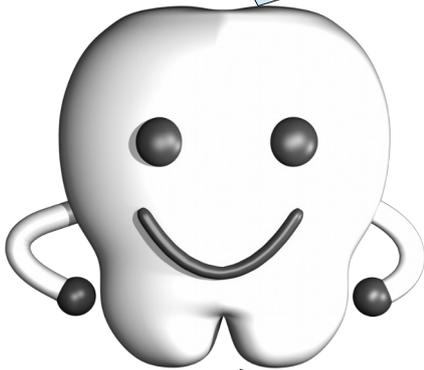
この画面で詳細な編集が行えます。



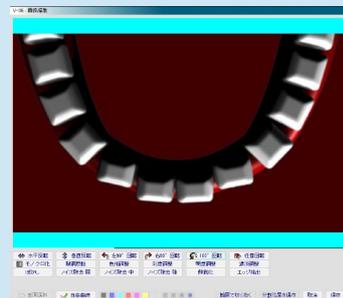
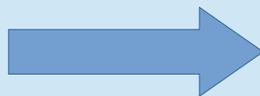
次のページから、各種編集機能について説明します。

180度回転

画像は180度回転させることができます。



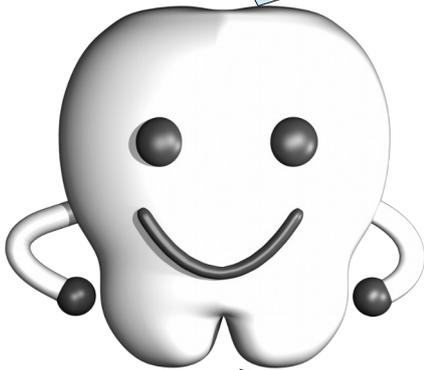
[180° 回転] ボタンを押します。
画像が180° 回転します。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

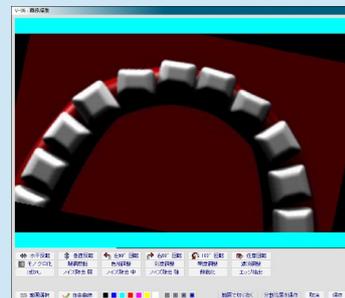
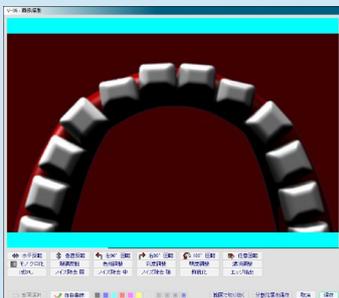
任意回転

画像は任意の角度で回転させることができます。なお、単位は0.5度です。0.5度未満の回転は行なえません。



[任意回転] ボタンを押します。
ウィンドウの下部に、新たに、[<< 左1.0°]、[< 左0.5°]、[右0.5° >]、[右1.0° >>]の4つのボタンが表示されます。これらのボタンで画像を回転してください。

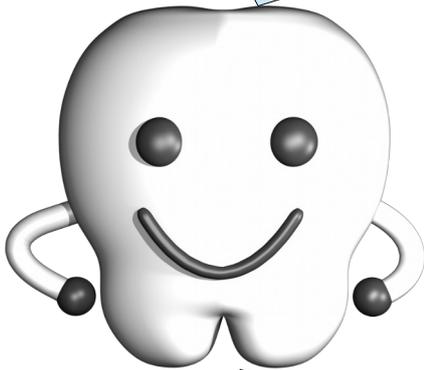
回転が終了したら、ウィンドウ下部にある[回転確定]ボタンを押してください。回転を中止する場合は[回転取消]を押します。



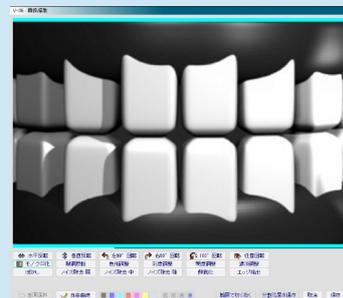
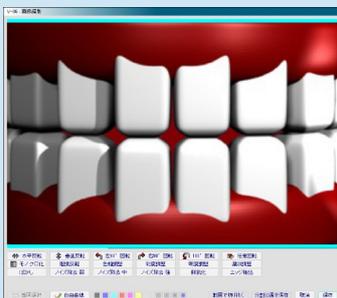
編集を終えたら、[保存]ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消]ボタンを押してください。

モノクロ化

画像はモノクロ化することができます。モノクロ化とは、グレースケール化（または脱色と呼ばれます）のことです。色味を取り除いた輝度のみの画像になります。



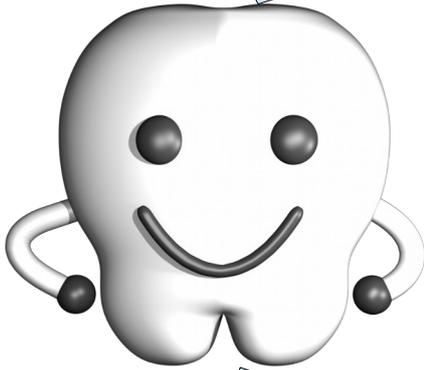
[モノクロ化] ボタンを押します。
画像がモノクロ化されます。



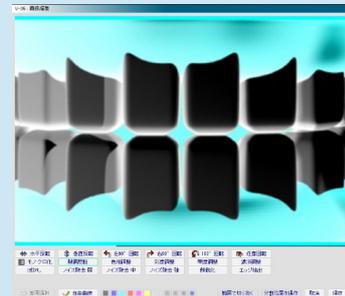
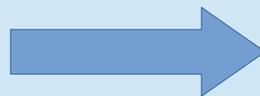
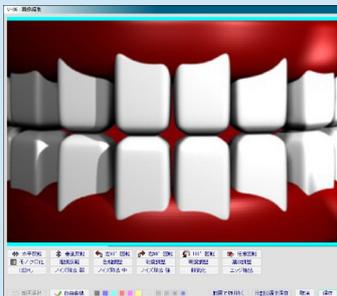
編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

階調反転

階調反転とは、ポジティブ・ネガティブ反転のことです。フィルムのネガをスキャンした場合に、この階調反転を実行することで正常な色に変換することができます。



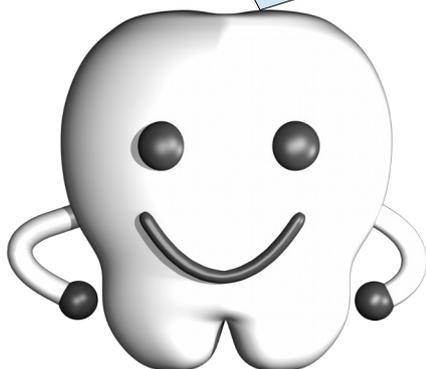
[階調反転] ボタンを押します。
画像がポジティブ・ネガティブ反転されます。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

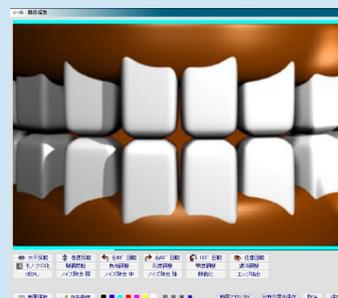
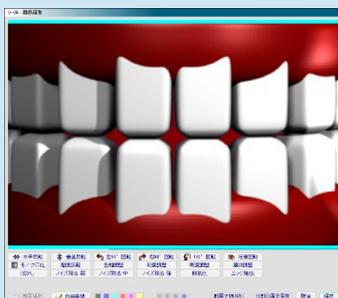
色相調整

色相調整とは、色合いの調整のことです。ホワイトバランスが正しく調整されていない画像の補正に使用します。



〔色相調整〕ボタンを押します。
ウィンドウの下部に、新たに、スライダが表示されます。このスライダで色調を調整してください。

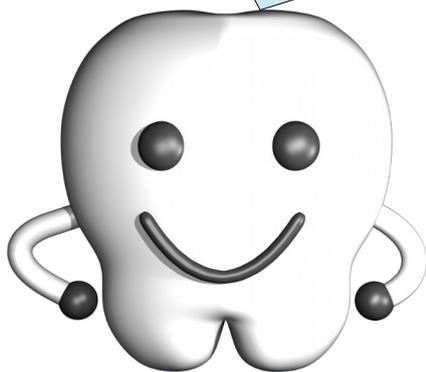
調整が終了したら、ウィンドウ下部にある〔調整確定〕ボタンを押してください。調整を中止する場合は〔調整取消〕を押します。



編集を終えたら、〔保存〕ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、〔取消〕ボタンを押してください。

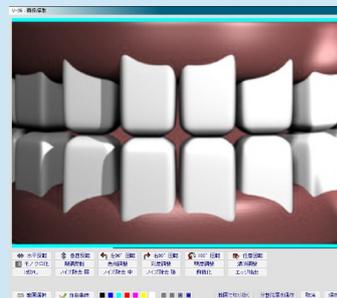
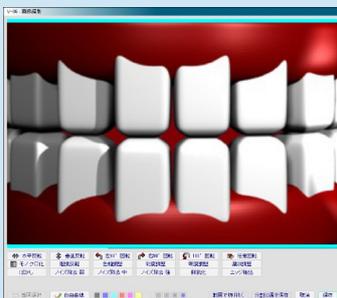
彩度調整

彩度調整とは、鮮やかさの調整のことです。コントラストの強弱（暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく濃く）とは異なります。コントラストの強弱は後述の濃淡調整で調整してください。



〔彩度調整〕ボタンを押します。
ウィンドウの下部に、新たに、スライダが表示されます。このスライダで彩度を調整してください。

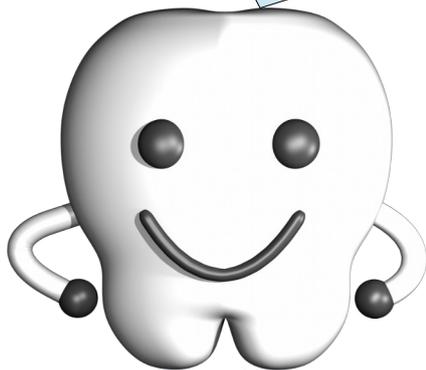
調整が終了したら、ウィンドウ下部にある〔調整確定〕ボタンを押してください。調整を中止する場合は〔調整取消〕を押します。



編集を終えたら、〔保存〕ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、〔取消〕ボタンを押してください。

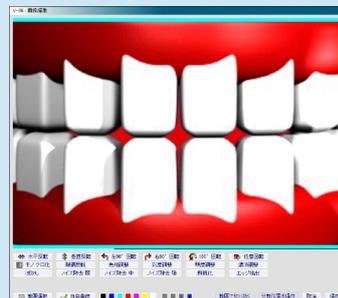
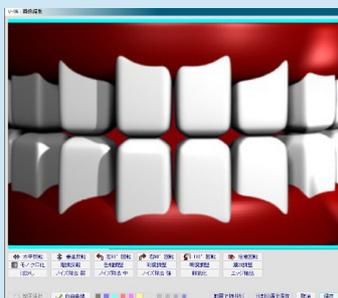
明度調整

明度調整とは、明るさの調整のことです。コントラストの強弱（暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく濃く）とは異なります。コントラストの強弱は後述の濃淡調整で調整してください。



[明度調整] ボタンを押します。
ウィンドウの下部に、新たに、スライダが表示されます。このスライダで明度を調整してください。

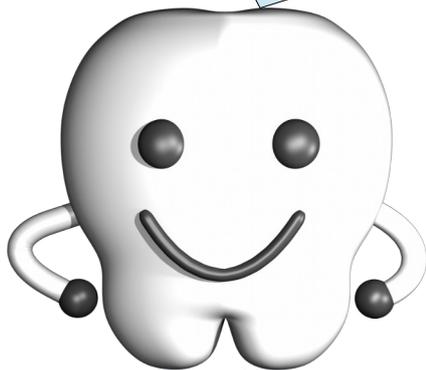
調整が終了したら、ウィンドウ下部にある [調整確定] ボタンを押してください。調整を中止する場合は [調整取消] を押します。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

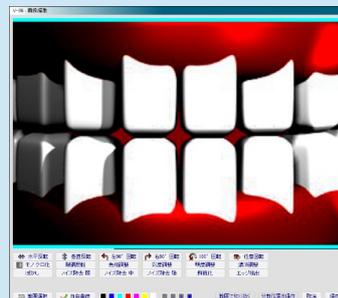
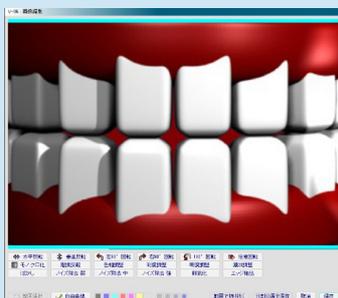
濃淡調整

濃淡調整とは、コントラスト調整のことです。暗い部分と明るい部分の差を調整します。



[濃淡調整] ボタンを押します。
ウィンドウの下部に、新たに、スライダが表示されます。このスライダで濃淡を調整してください。

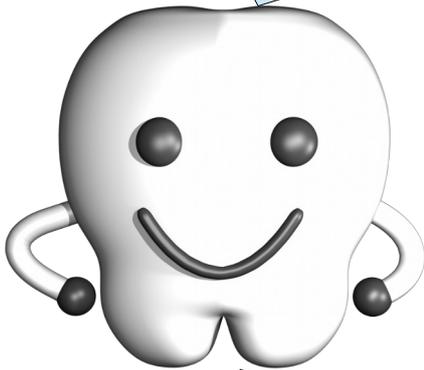
調整が終了したら、ウィンドウ下部にある [調整確定] ボタンを押してください。調整を中止する場合は [調整取消] を押します。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

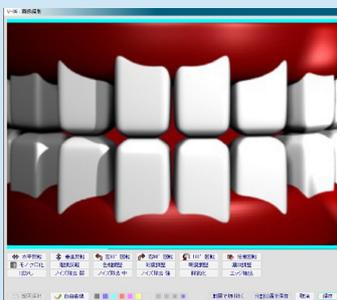
ぼかし

画像をぼかすことができます。



[ぼかし] ボタンを押します。
画像にぼかしがかかります。

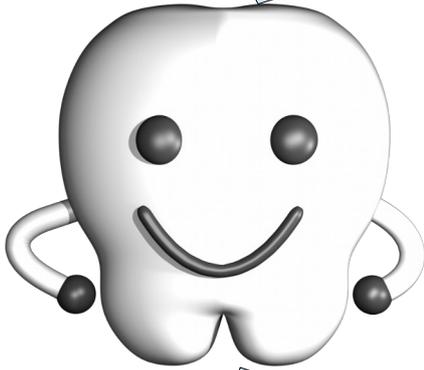
ボタンを押すたびに、ぼかし処理が実行されます。複数回ボタンを押すことでより強くぼかし効果がかかります。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

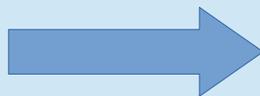
ノイズ除去

画像からノイズを除去することができます。



[ノイズ除去 弱] (または、中 / 強) ボタンを押します。
画像からノイズが除去されます。

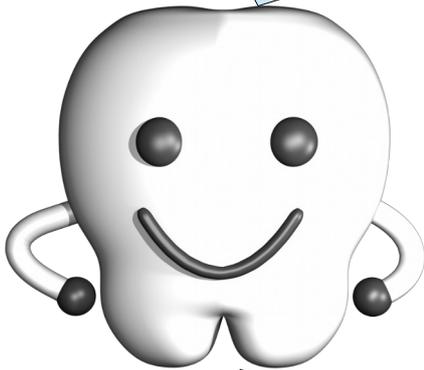
なお、ノイズ除去を適用すると画像にぼかし効果がかかってしまいます。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

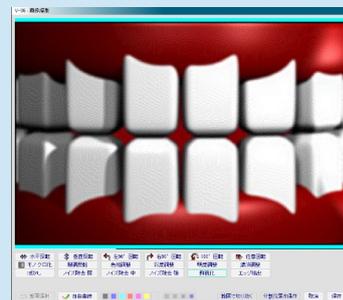
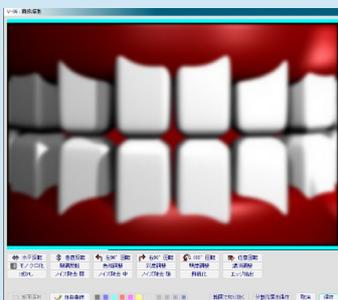
鮮鋭化

画像を鮮鋭化することができます。なお、鮮鋭化は『ぼかし』の逆の効果を持ちます。



[鮮鋭化] ボタンを押します。
画像が鮮鋭化されます。

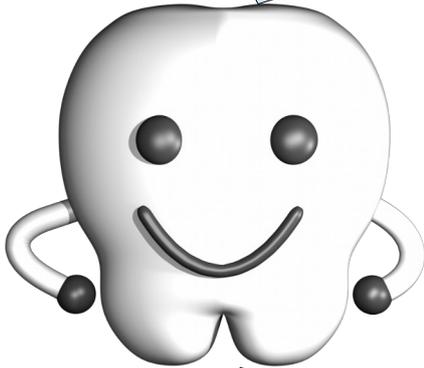
ボタンを押すたびに、鮮鋭化処理が実行されます。複数回 [鮮鋭化] ボタンを押すことでより強く鮮鋭化効果がかかります。



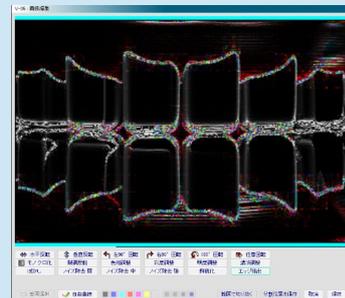
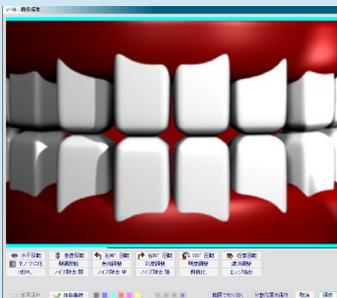
編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

エッジ抽出

エッジ抽出は輪郭を抽出するための処理です。事前にモノクロ化を実行することでより抽出しやすくなります。



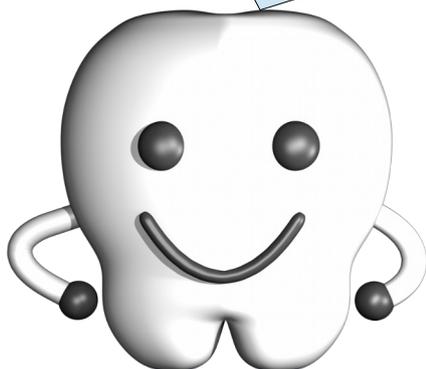
[エッジ抽出] ボタンを押します。
画像から輪郭が抽出されます。



編集を終えたら、[保存] ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、[取消] ボタンを押してください。

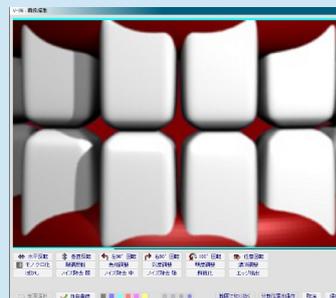
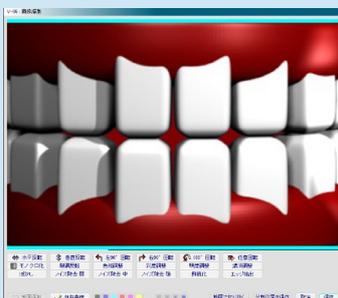
トリム(切り抜き)

トリム(切り抜き)で画像を必要な部分のみに切り抜くことができます。



【範囲選択】ボタンを押します(※初期状態ですでに押された状態になっており、グレー表示されています)。

マウスの左ボタンで切り抜く範囲をドラッグ操作で選択します。ドラッグの開始位置から終了位置を対角線とする青色の矩形が表示されます。四隅と上下左右にあるノブをマウスの左ボタンをドラッグすることで微調整することができます。調整が完了したら、画面下部にある【範囲で切り抜く】を押します。



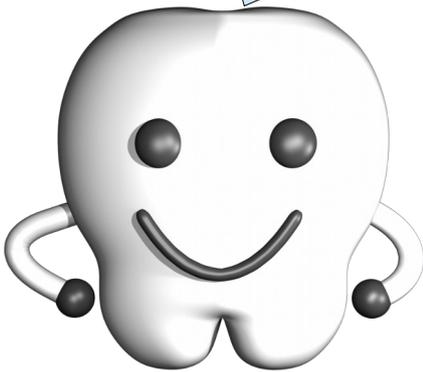
編集を終えたら、【保存】ボタンを押して変更を保存します。変更を破棄する場合は、【取消】ボタンを押してください。

その他の機能

続いて、Dental Photo Scape のその他の機能として、

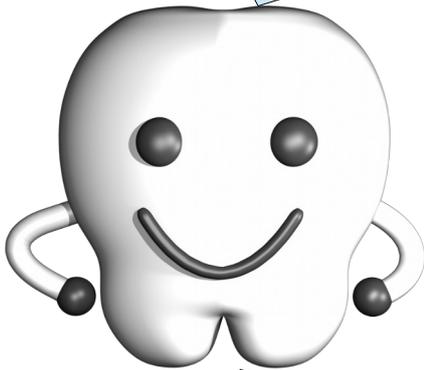
- ・ 画像の削除
- ・ 画像の追加登録
- ・ 外部プログラムによる画像の照会や編集
- ・ 画像の時系列での表示
- ・ 画像への線書き込み
- ・ プライバシーの保護

について説明します。



画像の削除

登録済みの画像の削除は、**照会パネルで操作を行いません**。照会パネルに切り替え、対象の患者様の画像を表示してください。

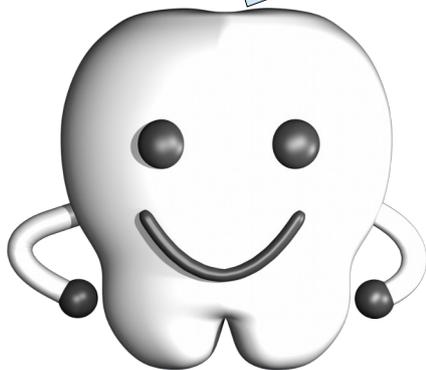


まずは、対象となる画像を選択する必要があります。

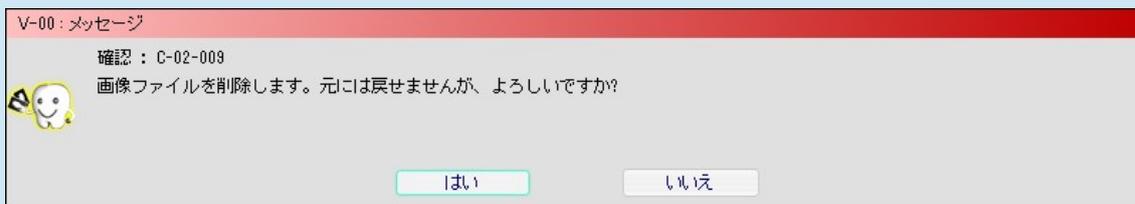
画像をマウスの左ボタンでクリックすることで選択することができます。下図のように青色の枠で囲まれた状態が選択された状態です（再度クリックすると解除されます）。



対象となる画像を選択したら、続いて画像の削除を行ないます。照会パネルの下部にある[削除]ボタンを押してください。



[削除]ボタンを押すと、下図のメッセージ(画像ファイルを削除します。元には戻せませんが、よろしいですか?)が表示されます。



[はい]ボタンを押すと、画像が削除されます。

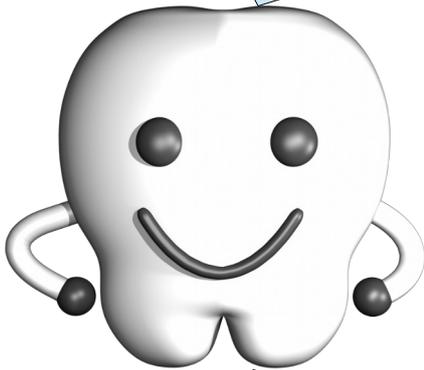


重要

その撮影日 + 同一日内連番の全ての画像が削除されると、その撮影日の情報そのものが削除されます。

画像の追加登録

登録済みの画像のセットに新たに画像を追加登録することができます。画像の追加登録は、**照会パネルで操作を行いません**。照会パネルに切り替え、対象の患者様の画像を表示してください。



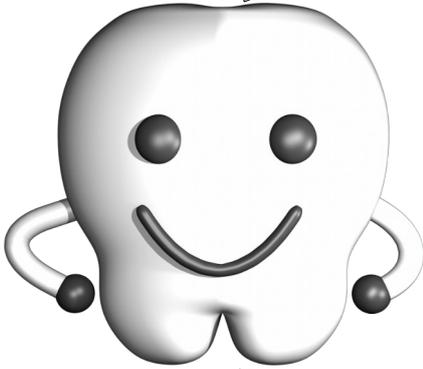
では、画像の追加登録を行いません。登録パネルと同じく、ドロップエリアに画像をドロップして配置してください。なお、ドロップエリアは登録パネルと異なり、下図のように青色の文字で表示されます。



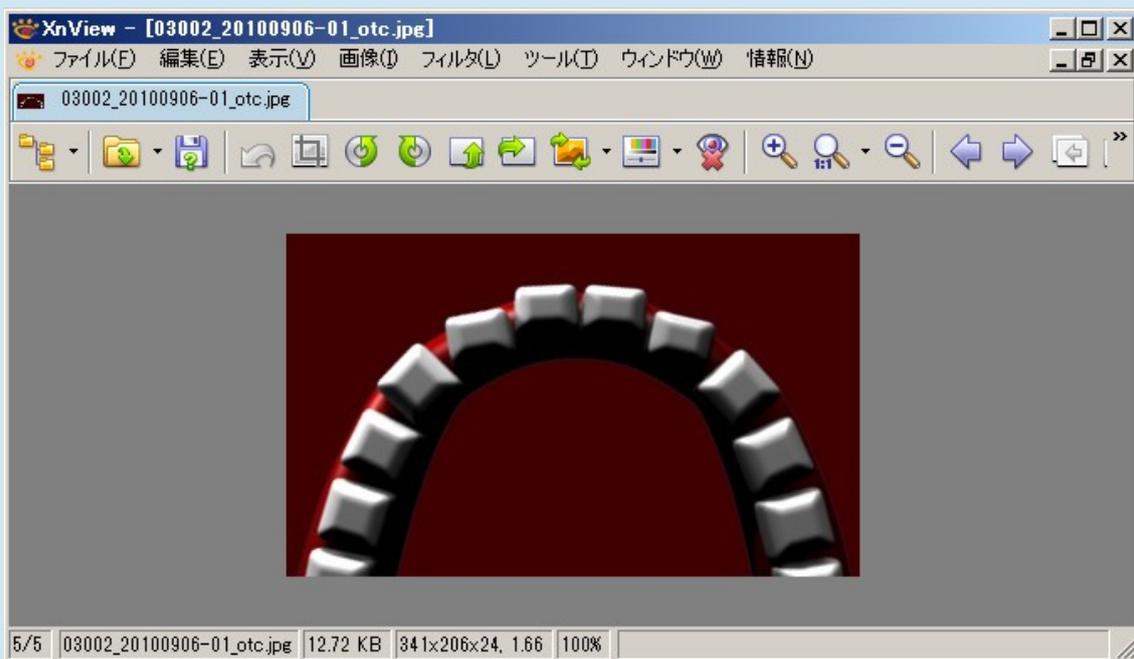
追加画像
ファイルに
ここを
ドロップ

ドロップエリアに画像を配置したら、[保存]ボタンで画像を保存します。

対象となる画像を選択したら、照会パネルの下部にある [外部編集] ボタンを押してください。

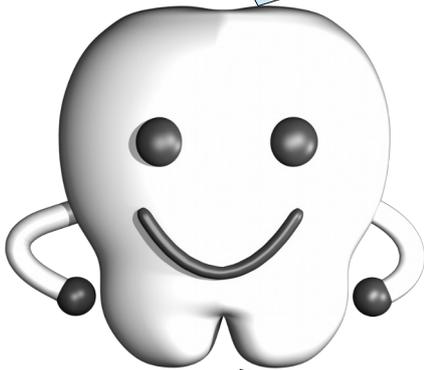


下図のように外部プログラムが起動します。



画像の時系列での表示

Dental Photo Scapeでは、取り込んだ画像を時系列で並べて表示させることができます。治療が進むにつれてどのように変化したかを確認することができます。時系列表示は、画像を照会している時（照会パネル）に使用することができます。

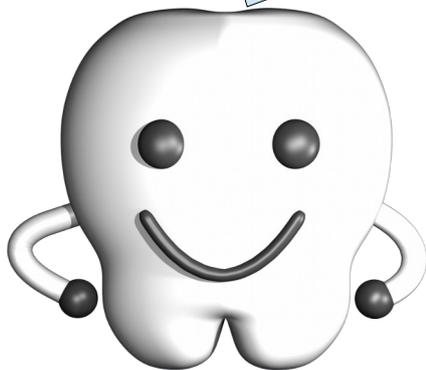


まずは、対象となる画像を選択する必要があります。

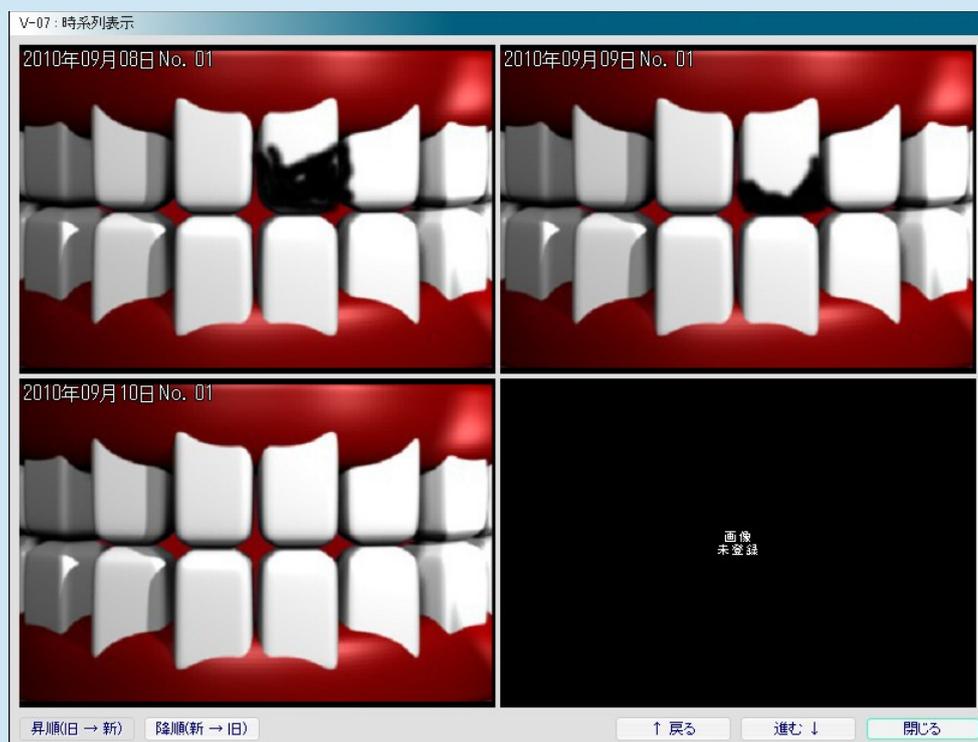
画像をマウスの左ボタンでクリックすることで選択することができます。下図のように青色の枠で囲まれた状態が選択された状態です（再度クリックすると解除されます）。



対象となる画像を選択したら、続いて画像を時系列表示します。照会パネルの下部にある[時系列表示]ボタンを押してください。



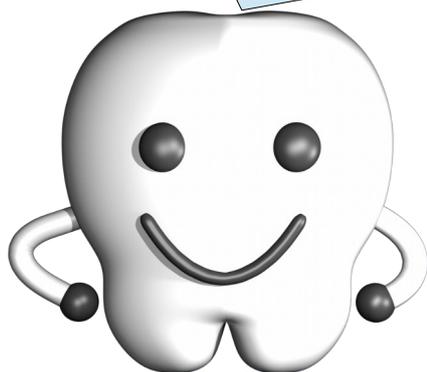
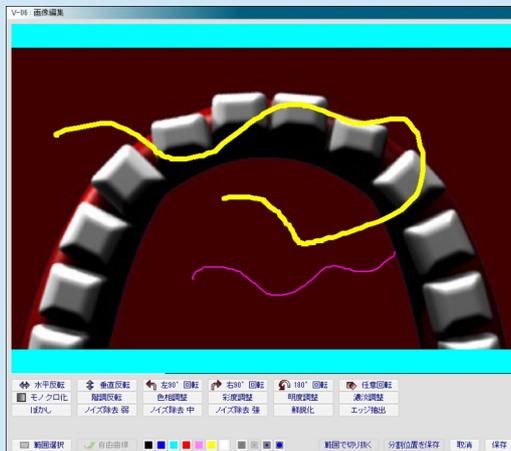
下図のように画像が時系列で表示されます。



画面下部にある、[昇順(旧 → 新)] ボタンと[降順(新 → 旧)] ボタンで並び替えを行うことができます。また、[↑ 戻る] ボタンと[↓ 進む] ボタンで前ページ、次ページへ切り替えることができます。

画像への線の書き込み

Dental Photo Scapeでは、画像に線を書き込むことができます。線の書き込みは画像編集画面から実施します。



なお、線は画像と重ねて表示されるだけで画像そのものには書き込みは行われません。線が書き込まれた画像が間違えて保存されてしまうことのないよう、線は保存されないようになっています。

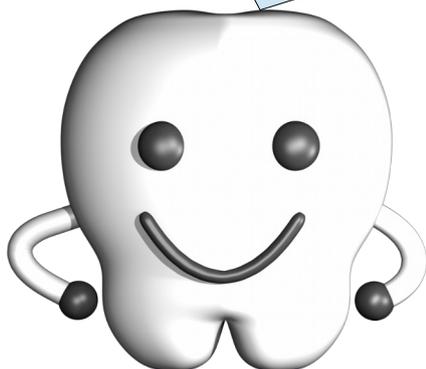
画像編集画面の下部にある、[自由曲線] ボタンを押し、その右に配置されている各色のボタンで色を決定し、さらにその右に配置されているペンの太さボタンで線幅を選択します。



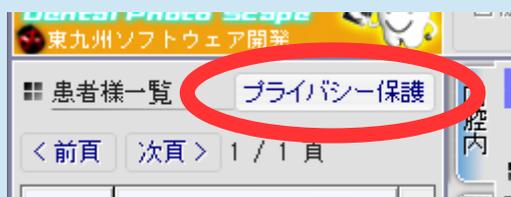
次に、画像の上をマウスの左ボタンでドラッグします。ドラッグした部分に線が引かれます。

プライバシーの保護

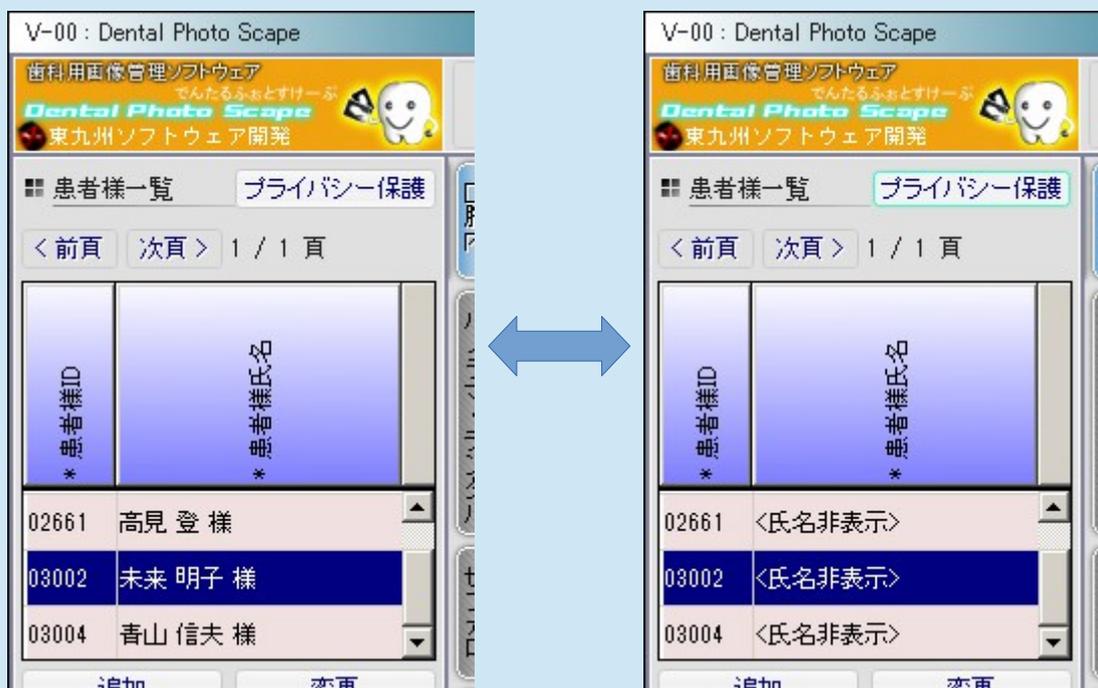
Dental Photo Scopeでは、プライバシーの保護のため、患者様一覧の患者様氏名を非表示にする機能が用意されています。登録した画像をチェアサイド等で患者様にお見せする場合などに活用ください。



患者様一覧の上部に「プライバシー保護」ボタンが用意されています。



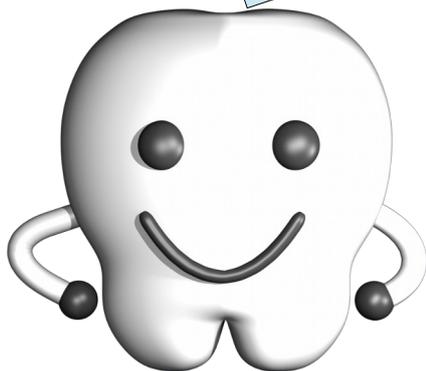
「プライバシー保護」ボタンを押す度に下図のように患者様氏名の表示・非表示が切り替わります。



バックアップ(退避)とリカバリ(復旧)

パーソナルコンピュータの耐用年数は、業務で使用する場合には3年～5年が目安となります。湿度や温度が高い場所や振動の激しい場所などに設置する場合には、さらに短い期間で故障する場合があります。

パーソナルコンピュータの故障はハードディスクの障害が原因であることが多く、その場合には**高い確率で保存されているデータが完全に失われてしまいます**。パーソナルコンピュータが故障しても Dental Photo Scope のデータを失うことのないよう、定期的にデータのバックアップ(退避)を行ってください。



Dental Photo Scope にはバックアップ・リカバリのツールが同梱されています。

定期的にバックアップを実施してください。

次のページから、バックアップ(退避)およびリカバリ(復旧)の手順を説明します。

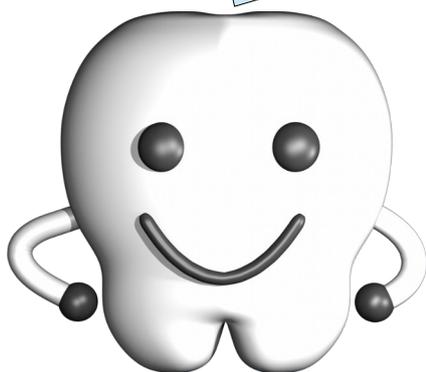
なお、Dental Photo Scope を使用している場合は Dental Photo Scope を終了してください。

Dental Photo Scope が実行されている状態では、付属のバックアップ・リカバリのツールは起動できません。

バックアップ(退避)の手順

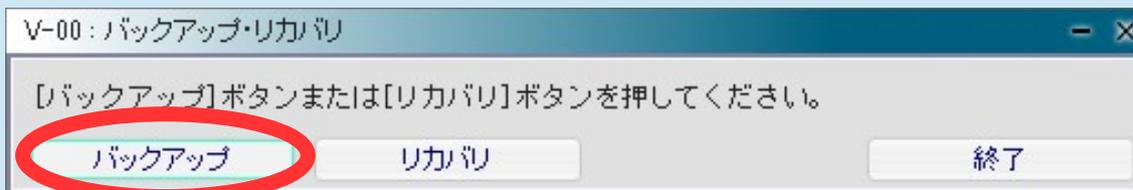
まずは、バックアップ(退避)の手順から説明します。付属のバックアップ・リカバリのツールを使用してバックアップを行います。

バックアップはとても重要な作業ですので、定期的にバックアップを実施してください。

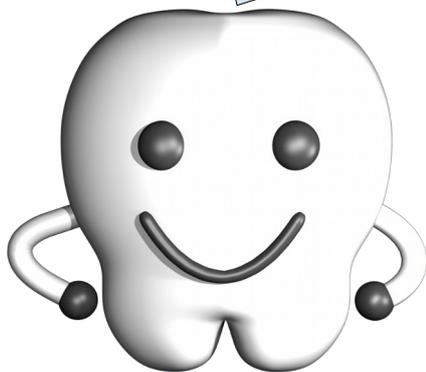
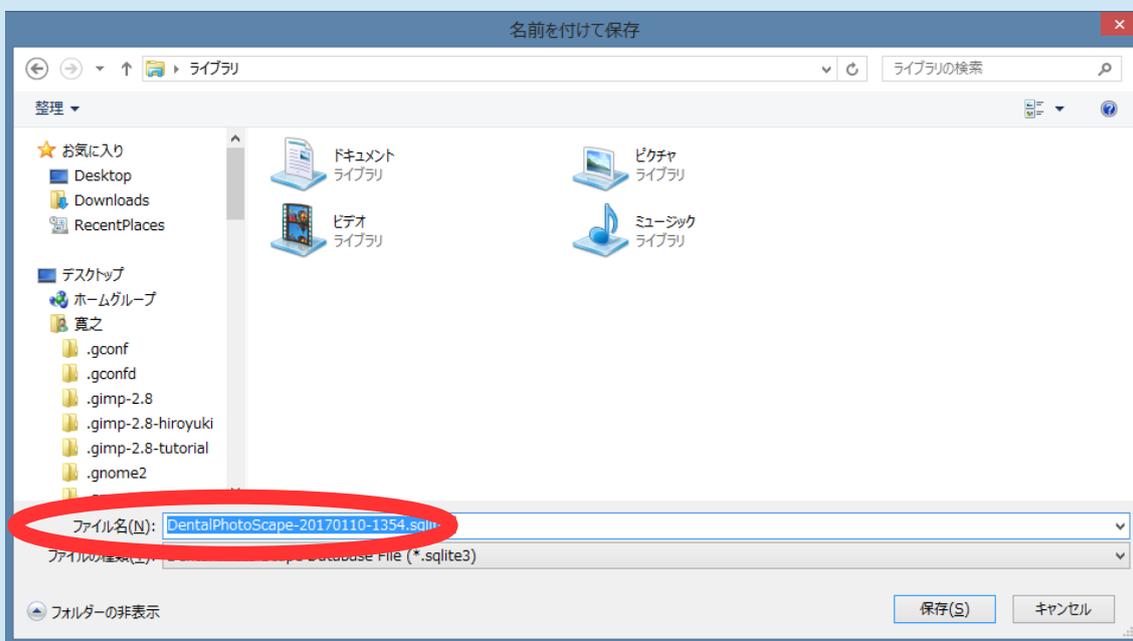


スタートメニューの、
Dental Photo Scape
↓
Dental Photo Scape バックアップ・リカバリ
でバックアップ・リカバリのツールを起
動します。

バックアップ・リカバリのツールが起動しますので、[バックアップ]ボタン(下図参照)を押します。



【バックアップ】ボタンを押すと、Windows の『名前をつけて保存』ダイアログが表示されます。ファイル名（下図の赤枠部分）は自動的に決定されますので**変更しないでください**。

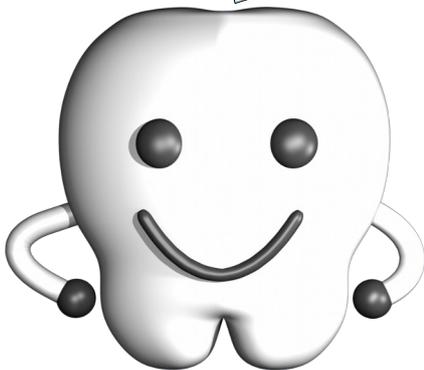
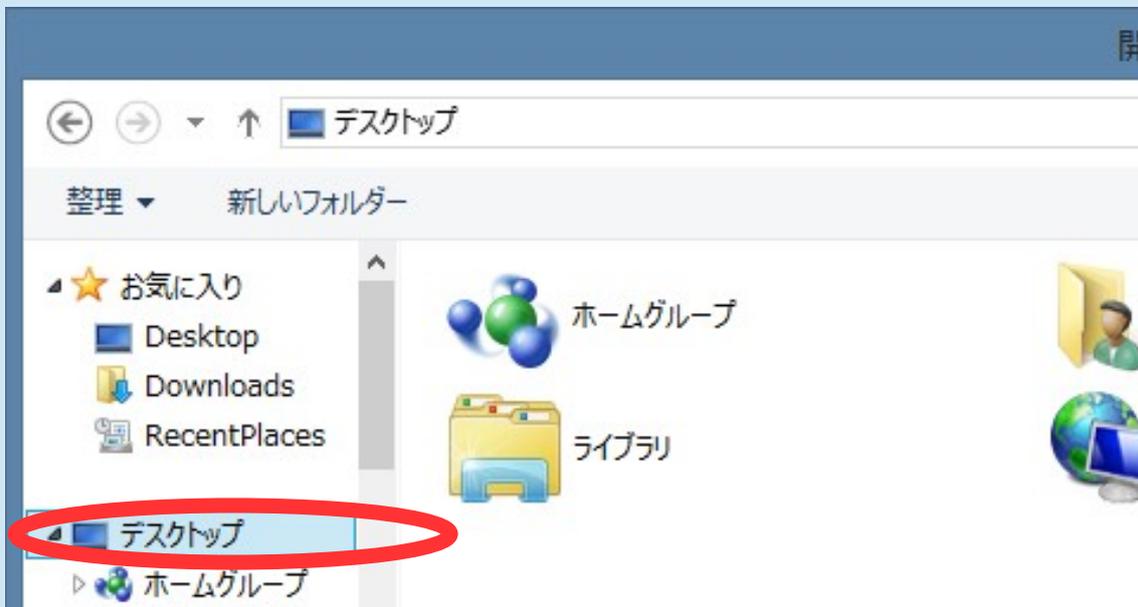


バックアップファイルのファイル名は変更してはいませんが、ファイルの保存場所は自由に変更することができます。

次のページでは、バックアップファイルをデスクトップに保存する場合の例を紹介します。

なお、バックアップファイルは本書の手順と同じように**デスクトップに保存することをおすすめします**。

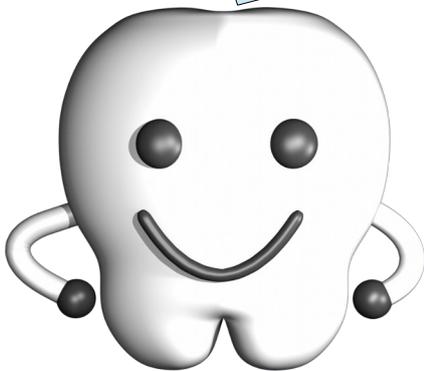
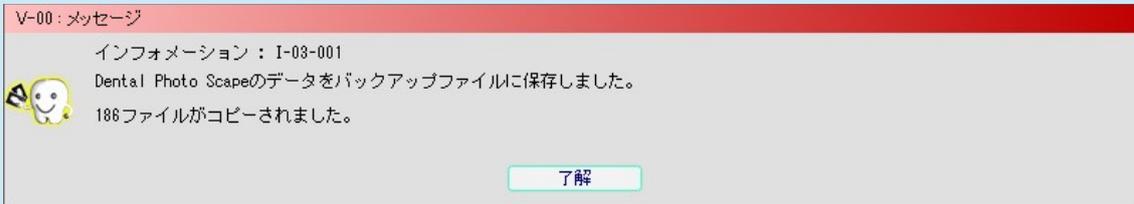
保存場所をデスクトップに変更します。ダイアログの左の一覧にある『デスクトップ』（下図参照）をマウスの左ボタンでクリックします。



続けて、[保存(S)] ボタン（下図参照）を押します。

保存(S)

バックアップが実行され、下図メッセージ (Dental Photo Scape のデータをバックアップファイルに保存しました。)が表示されますので、[了解]ボタンを押します。



以上でバックアップ作業は終わりです。
[終了]ボタンを押してバックアップ・リカバリのツールを終了します。

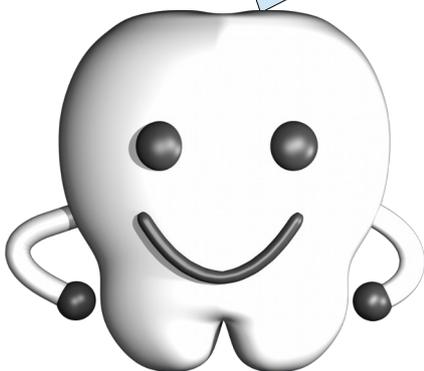
バックアップは1つのファイルと1つのフォルダに保存されます。
バックアップファイル・バックアップフォルダともにデスクトップ上に配置されています。バックアップファイル・バックアップフォルダの名前は、

DentalPhotoScope-20150807-1913.sqlite3
DentalPhotoScope-20150807-1913

のように年月日と時分を含んでいます。

このバックアップファイル・バックアップフォルダを、別のパーソナルコンピュータやUSBフラッシュメモリ、またはCDやDVDなどに移動してください。

バックアップファイル・バックアップフォルダをデスクトップに置いたままにしておくと、このパーソナルコンピュータが壊れた時に、同時にバックアップファイル・バックアップフォルダも失われてしまいます。それではバックアップの意味がなくなりますので、必ず他の場所へ移動してください。

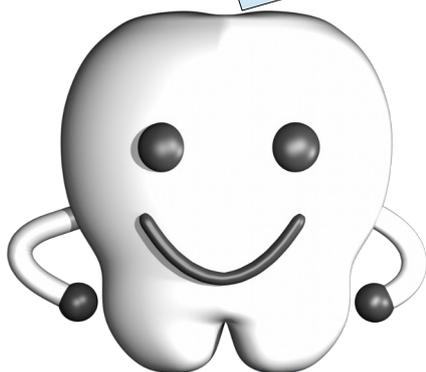


リカバリ(復旧)の手順

続いて、リカバリ(復旧)の手順を説明します。付属のバックアップ・リカバリのツールを使用してリカバリを行います。

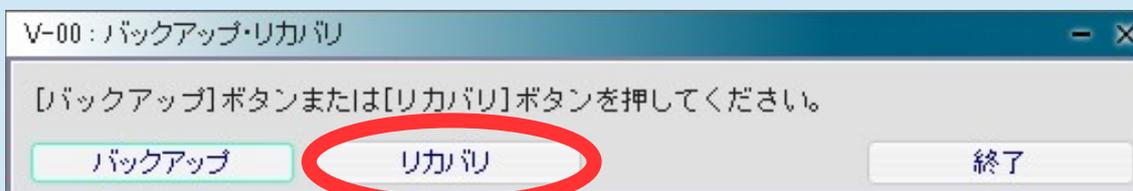
『リカバリ』とはバックアップしたデータを戻す作業のことです。**通常は実施する必要はありません。**パーソナルコンピュータが壊れたため、新しいパーソナルコンピュータにDental Photo Scapeの情報を移す場合などに実施します。

最新のバックアップファイル・バックアップフォルダが必要になります。他のパーソナルコンピュータやUSBフラッシュメモリなどに退避しておいたバックアップファイル・バックアップフォルダを、デスクトップ上に複製しておいてください。

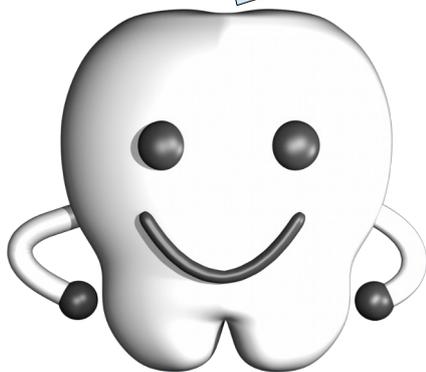
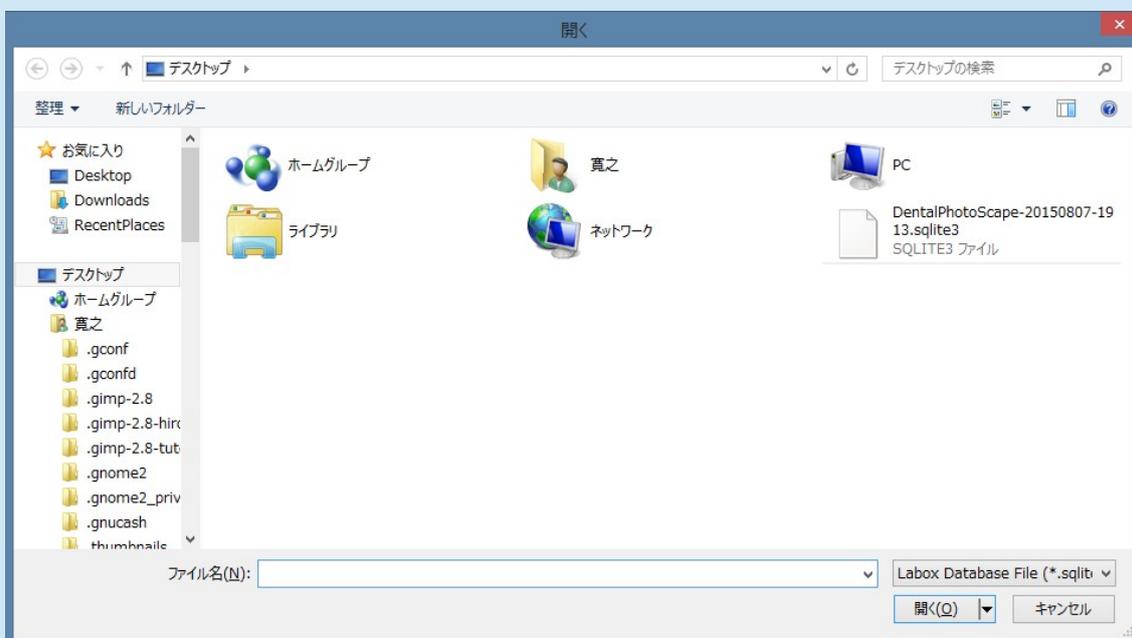


スタートメニューの、
Dental Photo Scape
↓
Dental Photo Scape バックアップ・リカバリ
でバックアップ・リカバリのツールを起動します。

バックアップ・リカバリのツールが起動しますので、[リカバリ]ボタン(下図参照)を押します。



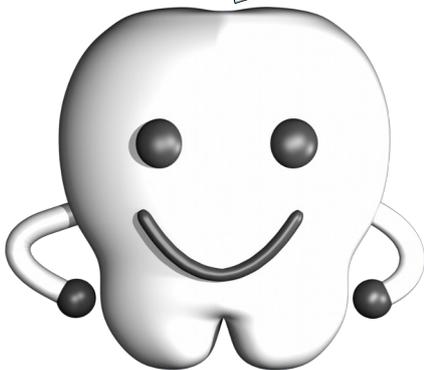
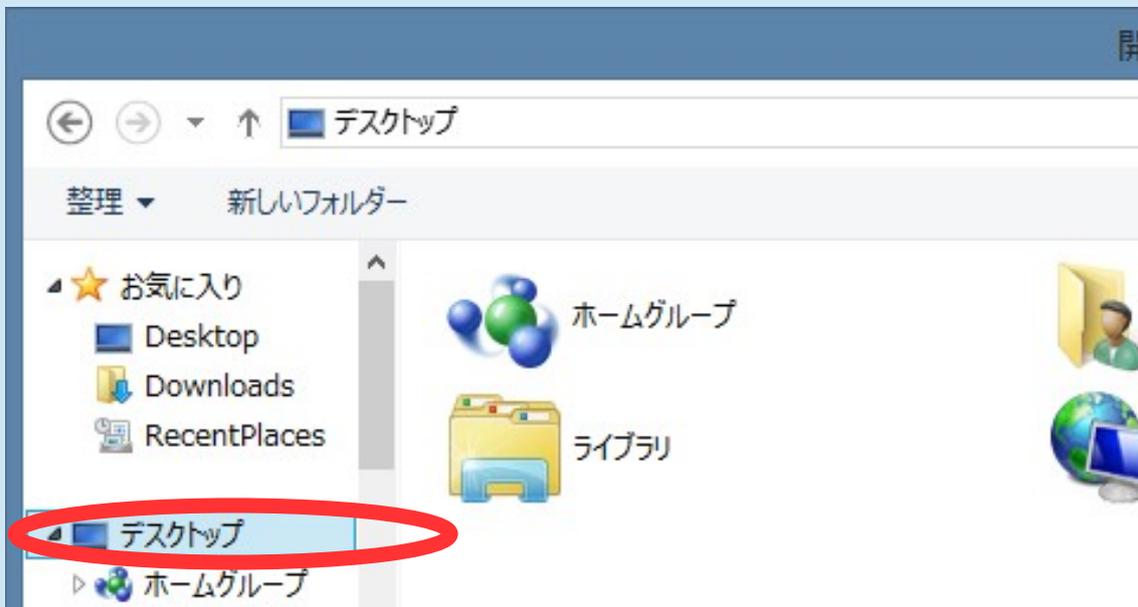
[リカバリ] ボタンを押すと、Windows の『開く』ダイアログが表示されます。続いて、バックアップファイルを指定しますが、ここではバックアップファイル・バックアップフォルダはデスクトップにあるものとして解説します。



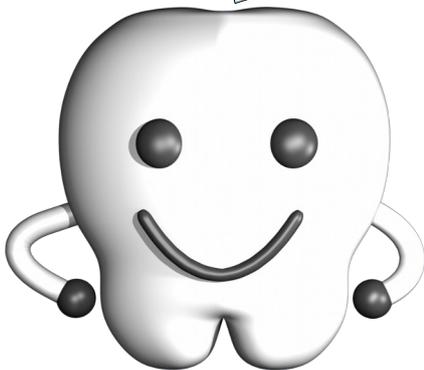
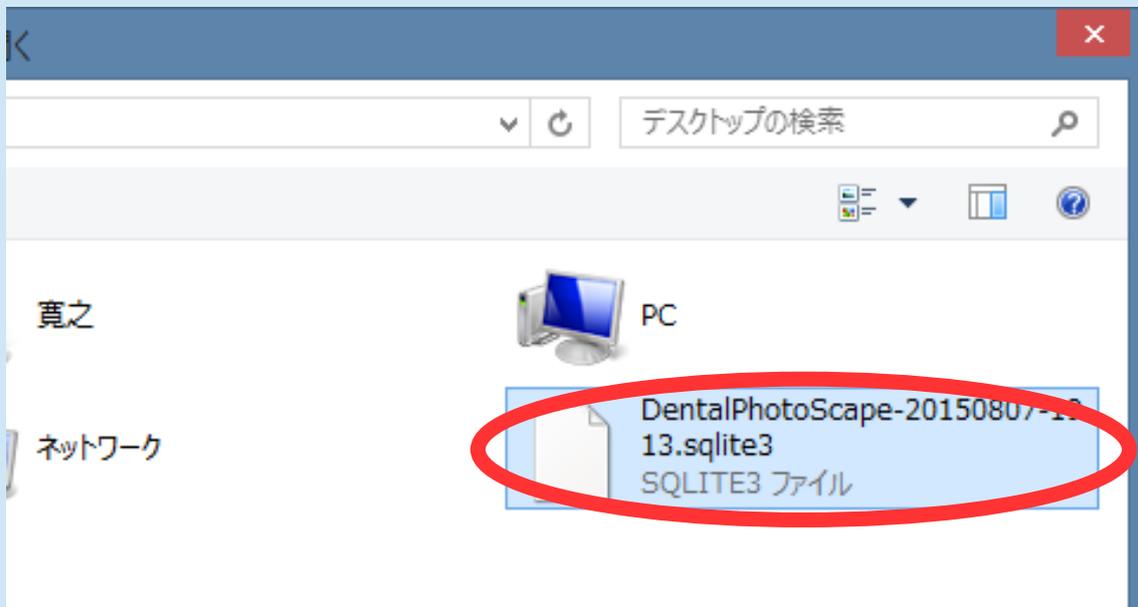
他のパーソナルコンピュータやUSBフラッシュメモリなどに退避しておいたバックアップファイル・バックアップフォルダを、デスクトップ上に配置しておいてください。

次のページでは、デスクトップに置かれているバックアップファイル・バックアップフォルダからリカバリする場合の例を紹介します。

デスクトップを表示させましょう。ダイアログの左の一覧にある『デスクトップ』（下図参照）をマウスの左ボタンでクリックしてください。



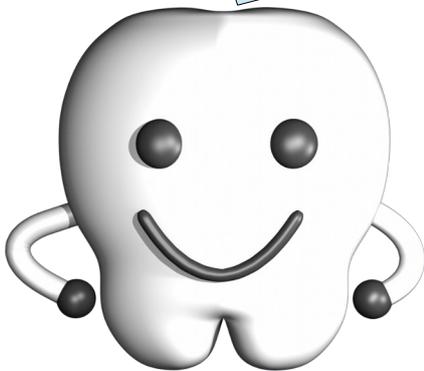
デスクトップが表示されます。あらかじめ配置しておいたバックアップファイルが見つかるはずですので、そのバックアップファイルをマウスの左ボタンでクリックします。



続けて、[開く (O)] ボタン (下図参照) を押します。

A button labeled '開く(O)' with a dropdown arrow. The button is rectangular with a light blue border and a white background. The text '開く(O)' is in black, and there is a small downward-pointing arrow to the right of the text.

リカバリが実行され、下図のメッセージ（バックアップファイルのデータをDental Photo Scapeに戻しました。）が表示されますので、[了解]ボタンを押します。



以上でリカバリ作業は終わりです。

[終了]ボタンを押してバックアップ・リカバリのツールを終了します。

患者様 ID の変更方法

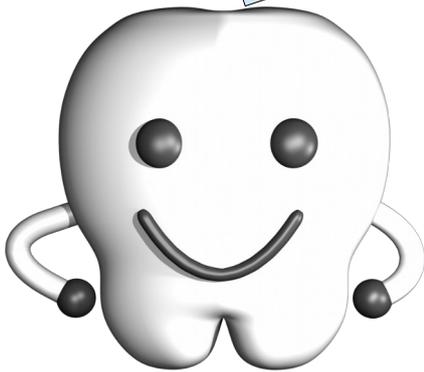
ここでは患者様 ID の変更方法について説明します。例えば、カルテ No. 421 の患者様の患者様 ID を、

421

から、

000421

に変更する場合などです。

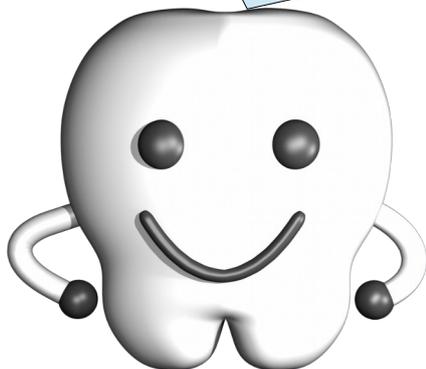


Dental Photo Scape では患者様 ID が識別子になっています。そのため、一度登録した患者様の患者様 ID を Dental Photo Scape 本体から変更することはできません。

患者様 ID を変更するには、Dental Photo Scape からではなく、付属の患者様 ID 更新のツールを利用します。

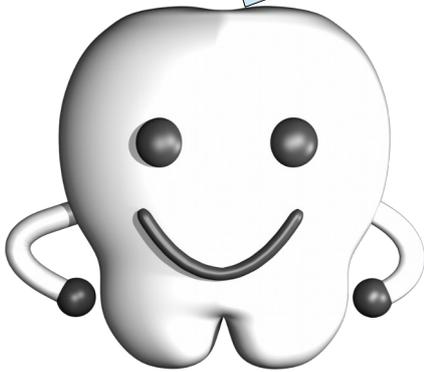
1. Dental Photo Scape の終了

Dental Photo Scape を使用している場合は Dental Photo Scape を終了してください。



2. 患者様 ID の更新

付属の患者様 ID 更新のツールを使用して患者様 ID の更新を行います。



スタートメニューの、
Dental Photo Scape
↓
Dental Photo Scape 患者様 ID 更新
で患者様 ID 更新のツールを起動します。

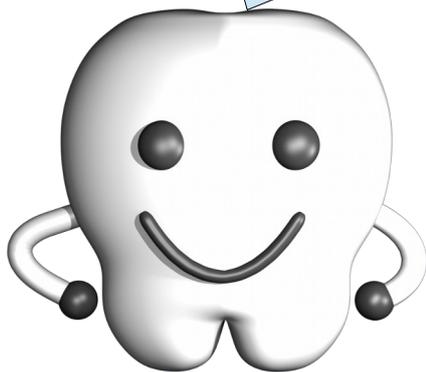
下図の画面が表示されますので、更新前患者様 ID と更新後患者様 ID の両方を入力し、[更新] ボタンを押します。

V-00: 患者様ID更新

* 更新前患者様ID | 更新前と更新後の患者様ID
* 更新後患者様ID をそれぞれ入力して[更新]ボ
タンを押してください。

更新
終了

例えば、患者様 ID を 123456 とすべきところを 223456 と誤入力して登録したデータの修正を行う場合には、更新前患者様 ID に 223456 を、更新後患者様 ID に 123456 と入力して更新を行います。その結果、間違って登録した 223456 が 123456 に訂正されます。



[更新] ボタンを押すと患者様 ID の更新が実行され、下図のメッセージ（患者様 ID を 'XXXX' から 'XXXX' に更新しました。）が表示されますので、[了解] ボタンを押します。

V-00: メッセージ

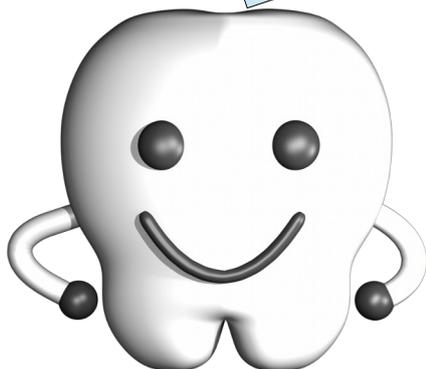
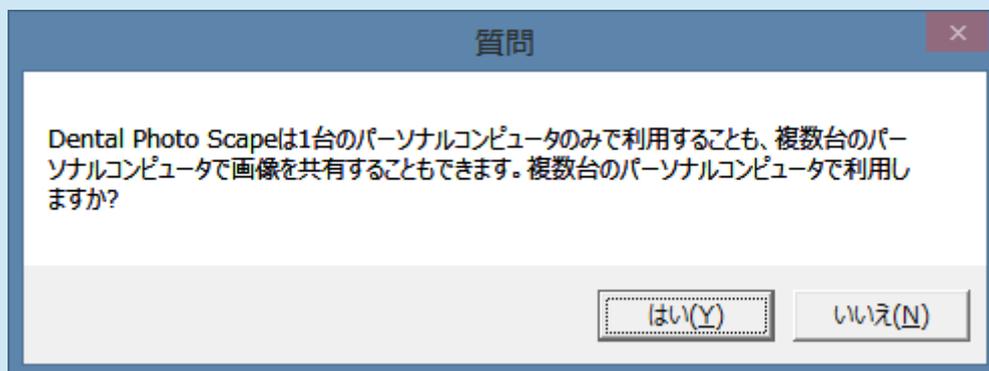
インフォメーション: I-03-001
患者様ID を '00248' から '12123' に更新しました。

了解

以上で患者様 ID の更新作業は終わりです。[終了] ボタンを押して患者様 ID 更新のツールを終了します。

情報の保存場所のクリア

Dental Photo Scape の初めての起動では、パーソナルコンピュータ1台のみで利用するか複数台で画像を共有するかを選択する画面が表示されます。

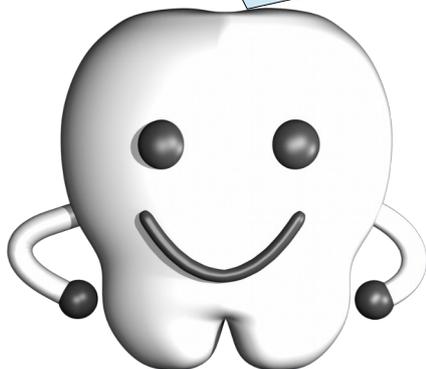


この画面での選択を間違ってしまった場合に、情報の保存場所をクリアする手順を説明します。

なお、ネットワーク接続ハードディスクを買い直した等の理由により、情報の保存場所を移動する場合にも必要となる手順です。

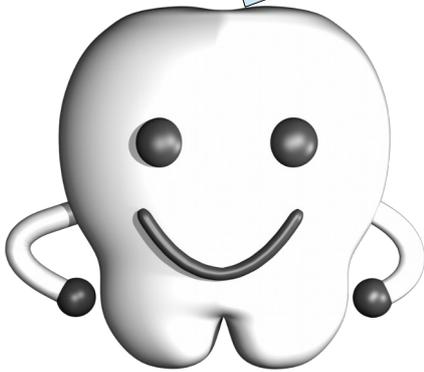
1. Dental Photo Scape の終了

Dental Photo Scape を使用している場合は Dental Photo Scape を終了してください。



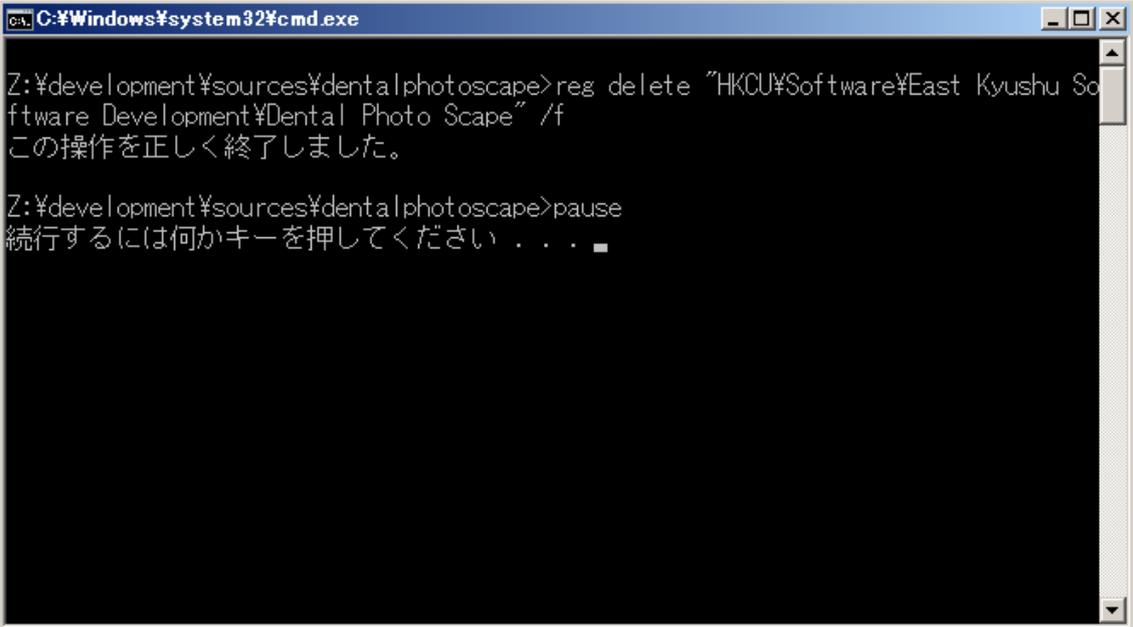
2. 保存場所クリア

付属の保存場所クリアのツールを使用して Dental Photo Scape が保持している保存場所の情報を消去します。



スタートメニューの、
Dental Photo Scape
↓
Dental Photo Scape 保存場所クリア
で保存場所クリアのツールを実行しま
す。

下図の画面が表示されますので、『この操作を正しく終了しました。』と表示されていることを確認し、Enterを押して画面を閉じます。

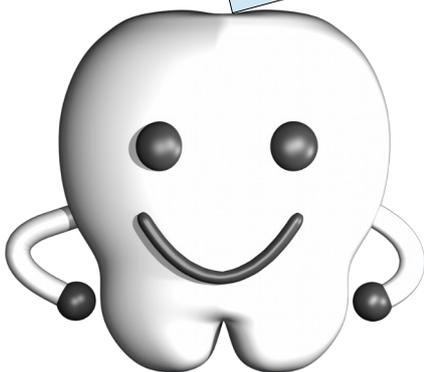


```
C:\Windows\system32\cmd.exe

Z:\development\sources\dentalphotoscape>reg delete "HKCU\Software\East Kyushu Software Development\Dental Photo Scape" /f
この操作を正しく終了しました。

Z:\development\sources\dentalphotoscape>pause
続行するには何かキーを押してください . . .
```

なお、Windowsのバージョンによっては、『操作は正しく終了しました』と表示されます。

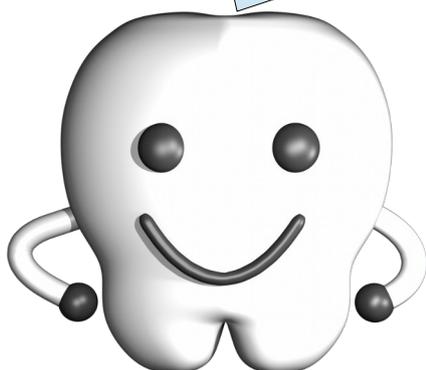


これで、Dental Photo Scapeを起動することで保存場所の再設定を行えるようになります。

付録

新しいパーソナルコンピュータへの引越し (PC 内保存)

新しいパーソナルコンピュータへ Dental Photo Scape を引越す場合の手順です。なお、ネットワーク接続ハードディスクを使用せず、パーソナルコンピュータ内に情報を保存している場合の手順です。

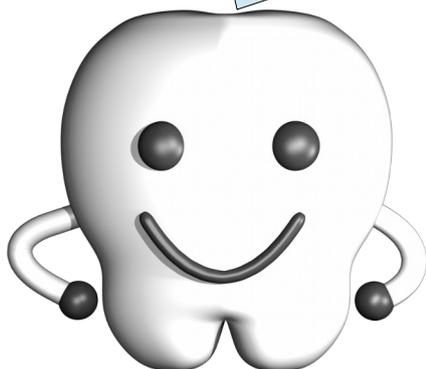


ネットワーク接続ハードディスクを使用している場合の手順は次ページを参照ください。

ステップ 1	古いパーソナルコンピュータでバックアップを行います。 ※手順は本書の『バックアップ(退避)とリカバリ(復旧)』の章を参照してください
ステップ 2	新しいパーソナルコンピュータへの Dental Photo Scape のインストールを実施します。 ※手順は別冊の『Dental Photo Scape インストールガイド』の『インストール手順(PC内保存)』の章を参照してください
ステップ 3	新しいパーソナルコンピュータでリカバリを行います。 ※手順は本書の『バックアップ(退避)とリカバリ(復旧)』の章を参照してください

新しいパーソナルコンピュータへの引越し (NAS 上保存)

新しいパーソナルコンピュータへ Dental Photo Scape を引越す場合の手順です。なお、ネットワーク接続ハードディスク上に情報を保存している場合の手順です。



パーソナルコンピュータ内に情報を保存している場合の手順は前ページを参照ください。

ステップ 1	<p>新しいパーソナルコンピュータへの Dental Photo Scape のインストールを実施します。</p> <p>※手順は別冊の『Dental Photo Scape インストールガイド』の『インストール手順 (NAS 上保存 2 台目以降の PC)』の章を参照してください</p>
ステップ 2	<p>古いパーソナルコンピュータへの Dental Photo Scape のアンインストールを実施します。</p> <p>※手順は本書の『Dental Photo Scape のアンインストール』の章を参照してください</p>



重要

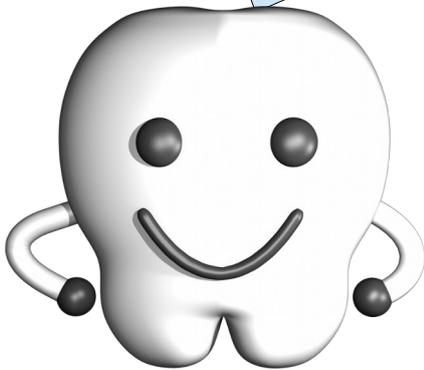
この手順はパーソナルコンピュータを引越す場合の手順です。パーソナルコンピュータはそのまま、情報の保存場所であるネットワーク接続ハードディスクを買い替えた場合の手順ではありません。

ネットワーク接続ハードディスクを買い替えた場合など、ネットワーク接続ハードディスク上の情報の保存場所を移動させる場合の手順は次ページを参照ください。

情報の保存場所の移動

Dental Photo Scapeは、ネットワーク接続ハードディスクを利用することで複数台のパーソナルコンピュータで情報（患者様情報や画像）を共有することができます。

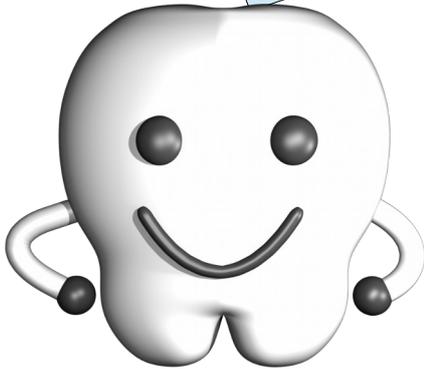
ここでは、ネットワーク接続ハードディスクを買い換えた場合など、情報の保存場所を移動しなくてはならなくなった場合の手順について説明しています。



ネットワーク接続ハードディスクを使用せず、パーソナルコンピュータ内に情報を保存している場合は、この作業は必要ありません。

1. バックアップ

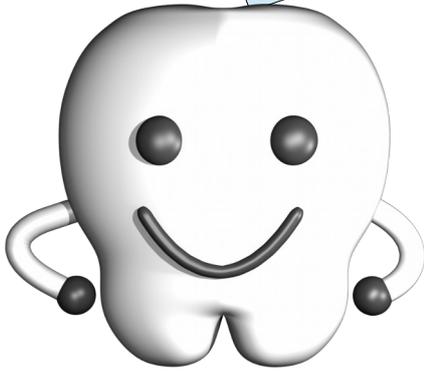
Dental Photo Scape がインストールされているパーソナルコンピュータの**どれか1台**でバックアップを行います。



手順は本書の『バックアップ（退避）とリカバリ（復旧）』の章を参照ください。

2. 情報の保存場所のクリア

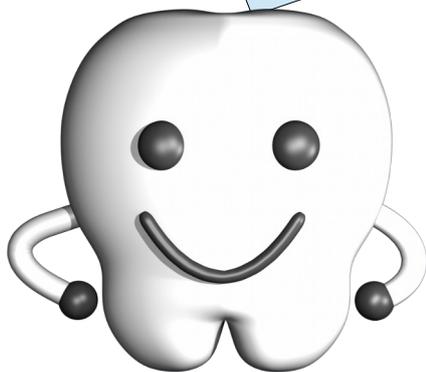
Dental Photo Scape がインストールされている**全てのパーソナルコンピュータ**で情報の保存場所のクリアを行います。



手順は本書の『情報の保存場所のクリア』の章を参照ください。

3. 情報の保存場所の再設定(1台目)

手順(1.)の『バックアップ』を行ったパーソナルコンピュータで Dental Photo Scape を起動します。



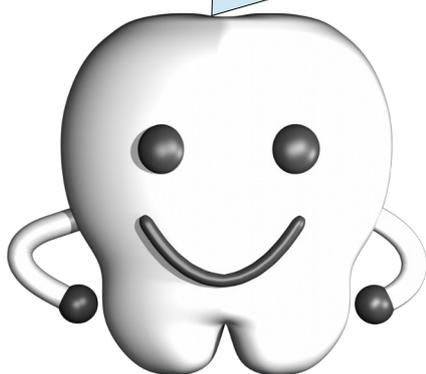
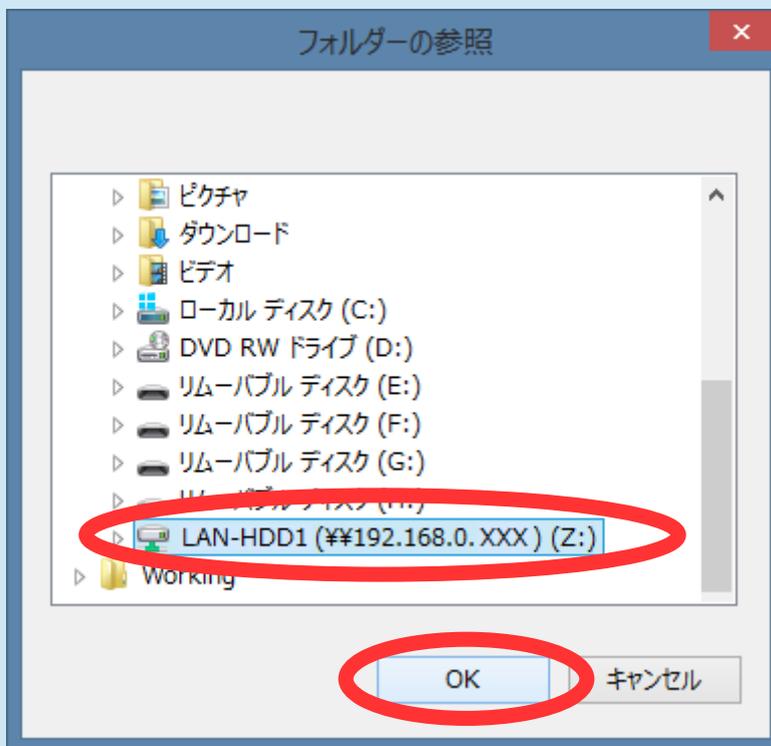
情報の保存場所がクリアされたことにより、下図のメッセージ(Dental Photo Scapeは1台のパーソナルコンピュータのみで...<省略>...複数台のパーソナルコンピュータで利用しますか?)が表示されます。



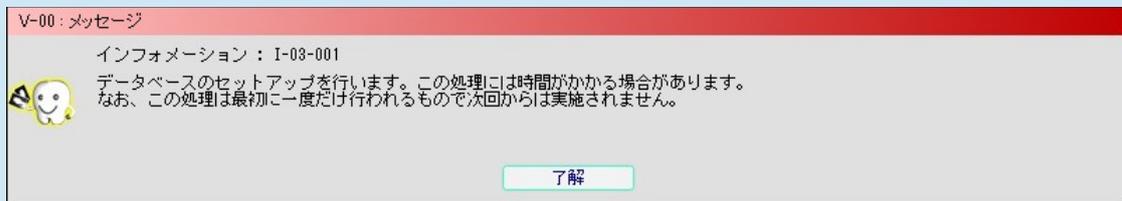
ここでは[はい(Y)]ボタンを押します。

間違えて[いいえ(N)]ボタンを押した場合は、一度 Dental Photo Scape を終了し、再度、情報の保存場所のクリアを行ってください(このパーソナルコンピュータのみでクリアを実施)。その後、Dental Photo Scape を起動し、このページから作業をやり直してください。

Windowsの『フォルダーの参照』画面が表示されますので、新しい情報の保存場所を指定して[OK]ボタンを押します。

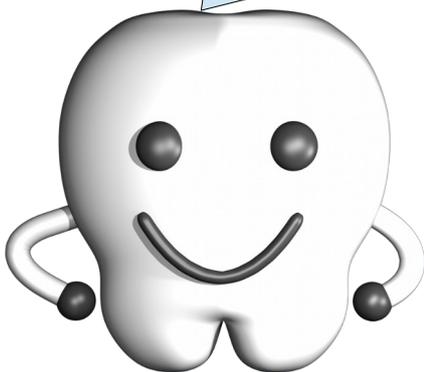


続いて、下図のメッセージ（データベースのセットアップを行います。...〈省略〉... 次回からは実施されません。）が表示されます。



『データベースのセットアップ』により患者様情報のサンプルが作成されます。

[了解] ボタンを押し、データベースのセットアップを続行します。

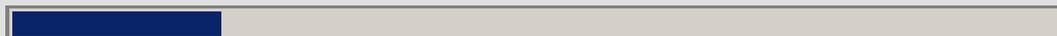


情報の保存先に指定したネットワーク接続ハードディスクの共有フォルダに、まだ、Dental Photo Scape の情報が存在しないためデータベースのセットアップが行われます。

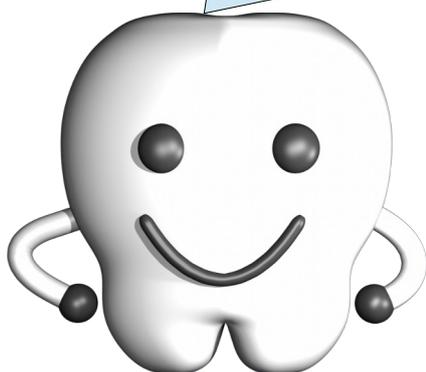
データベースのセットアップの進行具合が表示されます。

V-01: セットアップ

データベースのセットアップ中です。この処理には時間がかかる場合があります。処理が完了するまでこのままお待ちください。



自動的に次へ進みますのでそのままお待ちください。数十秒から数分の時間がかかります。



データベースのセットアップが完了すると、下図のメッセージ（データベースのセットアップが完了しました。）が表示されますので、[了解]ボタンを押してください。

V-00: メッセージ

インフォメーション: I-03-002

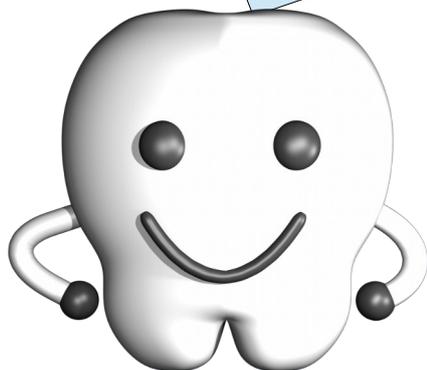
データベースのセットアップが完了しました。



了解

4. リカバリ

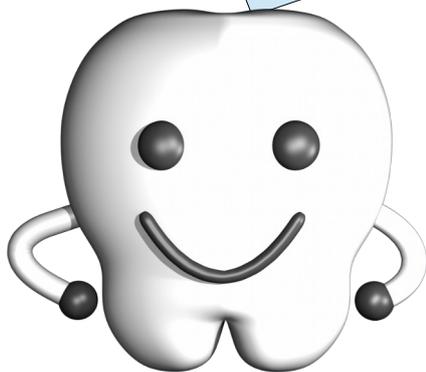
手順(1.)の『バックアップ』を行ったパーソナルコンピュータでリカバリを行います。



手順は本書の『バックアップ(退避)とリカバリ(復旧)』の章を参照ください。

5. 情報の保存場所の再設定(2台目以降)

手順(1.)の『バックアップ』を行ったパーソナルコンピュータ**以外**の**全てのパーソナルコンピュータ**でDental Photo Scapeを起動します。



情報の保存場所がクリアされたことにより、下図のメッセージ(Dental Photo Scapeは1台のパーソナルコンピュータのみで...<省略>...複数台のパーソナルコンピュータで利用しますか?)が表示されます。



ここでは[はい(Y)]ボタンを押します。

間違えて[いいえ(N)]ボタンを押した場合は、一度Dental Photo Scapeを終了し、再度、情報の保存場所のクリアを行ってください(このパーソナルコンピュータのみでクリアを実施)。その後、Dental Photo Scapeを起動し、このページから作業をやり直してください。

Windowsの『フォルダーの参照』画面が表示されますので、新しい情報の保存場所を指定して[OK]ボタンを押します。

